Aterm® WM3600R

取扱説明書 第１版

接続・設定の際は、「つなぎかたガイド」をご覧ください。

「ソフトウェアのご使用条件」は、別紙に記載されています。添付 CD-ROM を開封する前に必ずお読みください。

WiMAX FORUM® CERTIFIED

技術基準適合認証品

はじめに

この度は Aterm WM3600R をご利用いただき、まことにありがとうございます。
Aterm WM3600R（以下、WM3600R と呼びます。）は、UQ モバイル WiMAX 網を利用した MVNO（仮想移動体通信事業者）および UQ コミュニケーションズ株式会社の提供によるモバイル WiMAX サービスに接続して通信を行う IEEE802.11b、IEEE802.11g に準拠したモバイル WiMAX ルータです。
本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

つなぎかたガイド（小冊子）

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。

取扱説明書（本書）

本商品の基本機能についての説明書です。

機能詳細ガイド（HTMLファイル）

本書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。
「機能詳細ガイド」はホームページに掲載されています。
箱に添付されておりますサポート案内の用紙に記載のURLからご覧ください。
（サポート案内は、「お問い合わせ・アフターサービス」や「お問い合わせ情報」などと記載されている場合があります。）

お知らせ

●本商品に内蔵の充電池は、リチウムポリマ電池を使用しています。

■電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
  2.4GHz 帯使用の Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4　DS/OF　4
■■■　■■■　■■■

2.4	: 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF	: DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4	: 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■	: 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

（1）本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2）万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

■ WiMAX 通信をご利用いただくにあたって

- 本商品は日本国内でのご利用を前提にしています。海外に持ち出しての使用はできません。
- サービスエリア内でも電波が伝わりにくい場所（屋内、車中、地下、トンネル内、ビルの陰、山間部など）では、通信できなかったり通信速度が低下する場合があります。また、高層ビル･マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることとなりますが、電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本商品は、高度な認証・暗号化技術を使った安全な通信が可能ですが、電波を利用する以上、第三者に通信を傍受される可能性があります。お客様ご自身の判断と責任において、お使いのパソコンのセキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。

Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。
らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。
Windows®、Windows Vista®、Windows Live™ は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows Vista® はオペレーティングシステムです。
Mac、Macintosh、Mac OS、AirMac、iPad、iPhone、iPod、iPod touch、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
iPhone 商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
Lion および Snow Leopard は、Apple Inc. の商標です。
インテル、Intel は、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションの商標です。
PowerPC は、米国における米国 International Business Machines Corp. の商標です。
Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Google Chrome は、Google Inc. の商標または登録商標です。
Opera は、Opera Software ASA の商標または登録商標です。
"プレイステーション" および "PSP" は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
Wii・ニンテンドー DS・ディーエス /DS は、任天堂の登録商標または商標です。
Xbox 360 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Adobe Reader、Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
WiMAX Forum は WiMAX Forum の登録商標です。WiMAX、WiMAX Forum ロゴ、WiMAX Forum Certified、および WiMAX Forum Certified ロゴは WiMAX Forum の商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利者の所有物です。
その他、各会社名、各製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

⚠ 警　告　：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注　意　：人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い　：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号

発火注意　感電注意

■ 行為を禁止する記号

一般禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止　火気禁止

■ 行為を指示する記号

一般指示

電源プラグをコンセントから抜け

⚠ 警　告

AC アダプタ

- AC100V の家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。
差込口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- AC アダプタの電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

⚠警　告

- 本商品のACアダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- ACアダプタは必ず本商品に添付のもの（ラベルに「AL1-002272」と記載されているもの)をお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。
- 本商品添付のACアダプタは日本国内AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。ACアダプタは、容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。

こんなときは

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を故意に水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品のUSBポートやクレードルポートに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、隙間などから異物が入らないようにしてください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源を切り、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- ACアダプタの電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。

⚠警 告

● 強い衝撃を与えたり、落としたり、曲げたりしないでください。万一、落としたり破損した場合は、すぐに本商品の電源を切り、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

● 本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

● 本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。
改造した機器を使用した場合は、電波法に抵触します。

● ぬれた手でコネクタ部分に触れないでください。感電の原因となります。

医療電気機器の近くでの取り扱いについて

※下記記載は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

● 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本商品は 22cm 以上離して携行および使用してください。電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

● 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので､本商品の電源を切るようにしてください。電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

● 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
・手術室､集中治療室（ICU)､冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本商品を持ち込まないでください。
・病棟内では､本商品の電源を切ってください。
・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本商品の電源を切ってください。
・医療機関が個々に使用禁止､持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがってください。

⚠ 警　告

- 自宅療養などで医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
  電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

その他のご注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

- 自動車やエレベータ、自動ドアなどの自動制御電子機器に影響が出る場合は、すぐに使用を中止してください。安全走行や安全運行を阻害する恐れがあります。

- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属類を置かないでください。また、屋外で使用する場合、本商品が濡れないようにご注意ください。水や液体が中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがありますので、すぐに電源を切り、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。

- 引火や爆発の恐れがある場所（ガソリンスタンドなど）や引火性のガスの発生するような場所での使用や放置はしないでください。爆発、発火、破裂、故障、火災の原因となります。

⚠注　意

設置場所

● 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそば、炎天下の車内など温度の高いところで使用、保管、放置しないでください。機器の変形、故障の原因となります。また、本商品の一部が熱くなり、やけどの原因となったり、内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
● 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
● 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
● ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
落下してけがの原因となることがあります。
● 本商品を風通しの悪いところに置かないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける
● 本商品を重ね置きしないでください。また、本商品の上に物を置かないでください。
重ね置きや上部に物を置くと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
● 本商品を、無理に縦置きにはしないでください。安定せず倒れて、故障や破損の原因となります。
本商品を、ランプ面を下にして使用しないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因になります。
● ポケットの中に入れて使用したり、皮膚に触れた状態で使用しないでください。低温やけどを起こす可能性があります。
● 布や毛布をかぶせたり、包んだりしないでください。
火災や故障の原因となります。

⚠注　意

AC アダプタ

- AC アダプタの電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ本体をもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

- AC アダプタの電源プラグとコンセントの間にほこりがある場合は、取り除いてください。火災の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。

- 本商品を AC アダプタで充電しながら使用した場合、AC アダプタが高温になることがあります。やけどなどの恐れがありますので、ご注意ください。

- AC アダプタのマイクロ USB 側端子の根本を強く引っ張ったり、曲げたり、ケーブルを機器に丸めたりしないでください。接触不良となったり、電源供給ができなくなります。

禁止事項

- 無理な力がかかるところ（ズボンのポケット、かばんの底など）に入れないでください。破損、故障の原因となります。
- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 「つなぎかたガイド」にしたがって接続してください。間違えると正常に動作しなかったり、接続機器が故障することがあります。

その他のご注意

- 使用中は本商品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用すると、低温やけどになることがあります。

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところでのご使用は避けてください。
  - ・振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となる場合があります。このような場合は、お互いを数m以上離してお使いください。
- 本商品と無線 LAN 端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、AC アダプタ、USB ケーブルを取り外してください。故障の原因となります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、USB ポートの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろのお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜き、電源を切ってから行ってください。

STOP お願い

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
  ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

無線LAN ／ WiMAXに関するご注意

- WiMAXの通信速度、最大下り40Mbps/上り15.4Mbps（規格値）はIEEE802.16e-2005（Mobile WiMAX）の規格で定められたデータ転送速度の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）ではありません。
  同様に、無線LANの規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本製品はIEEE802.16e-2005（Mobile WiMAX）準拠製品であり、IEEE802.16e-2004（固定WiMAX）との接続性は保証の限りではありません。
- サービスエリア外ではご使用になれません。
- サービスエリア内でも電波が伝わりにくい場所（屋内、車中、地下、トンネル内、ビルの陰、山間部など）では、通信できなかったり通信速度が低下する場合があります。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。あらかじめご了承ください。
- WiMAXおよび無線LANの電波状態や伝送速度は、建物や家具、移動速度などの周辺環境により大きく変動します。

その他のご注意

- 本商品のUSBポートにUSBケーブルやACアダプタを接続する際や接続している間は、本商品に無理な力が加わらないようにしてください。故障や破損の原因となります。
- 通信中に本商品の電源が切れたり、本商品を取り外したりすると、通信ができなくなり、データが壊れることがあります。重要なデータは元データと照合してください。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。
  プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 端末や無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

リチウムポリマ電池の取り扱いについて

本商品はリチウムポリマの充電池を内蔵しています。
充電池は、有機溶媒などの可燃物を使用していますので、取り扱いを誤りますと破裂、発火、発煙の恐れ、性能低下、故障の原因となります。
次の禁止事項を必ずお守りください。

⚠ 警　告

- 本商品は充電池を内蔵しています。
お客様ご自身では交換できません。交換については、別紙に記載のホームページをご確認ください。
お客様による交換は危険ですから絶対におやめください。
- 火のそばや、炎天下などでの充電はしないでください。高温になると危険を防止するための保護装置が働き、充電できなくなったり、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電され、充電池内部で異常な化学反応が起こり、漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。充電池に組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電され、充電池内部で異常な化学反応が起こり、漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。充電池を漏液、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になる恐れがあります。

本商品をご使用されなくなった場合の処分方法について

- 本商品に内蔵されている充電池の取り外しはお客様自身では行わないでください。
本商品の廃棄方法は、製品サポートページをご確認ください。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください…… 5

リチウムポリマ電池の取り扱いについて…… 14

目次…… 15

「機能詳細ガイド」目次…… 17

本商品に添付の CD-ROM について…… 18

1 章　準備

1-1　本商品でできること…… 1-2

1-2　箱の中身を確認しよう…… 1-7

1-3　各部の名称とはたらき…… 1-8

WM3600R…… 1-8

クレードル　※オプション品…… 1-12

1-4　あらかじめ確認してください…… 1-13

接続端末の準備…… 1-13

2 章　充電をする

2-1　電源 ON/OFF のしかた…… 2-2

2-2　充電のしかた…… 2-3

充電のしかた…… 2-3

充電時間…… 2-5

動作時間…… 2-5

電池残量…… 2-5

2-3　ECO 設定…… 2-6

無線 LAN スリープ…… 2-6

自動 LED 消灯…… 2-6

自動省電力…… 2-6

2-4　ロングライフ充電…… 2-8

ロングライフ充電…… 2-8

3 章　利用端末を接続する

3-1　本商品を接続する…… 3-2

USB で接続する…… 3-2

クレードル（オプション品）で有線 LAN 接続する…… 3-4

3-2　無線 LAN を設定する…… 3-5

3-3　パソコンなどから無線 LAN を簡単に設定する…… 3-6

らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX を使用して
無線設定をする…… 3-6

WPS 機能を使用して無線設定する…… 3-7

3-4　無線 LAN で iPad/iPod touch/iPhone から接続する…… 3-10

3-5　無線 LAN 内蔵のゲーム機から接続する…… 3-11

3-6　Windows Vista® および Windows® 7/XP の
「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する…… 3-12

Windows® 7 の場合…… 3-13

Windows Vista® の場合…… 3-20

Windows® XP（SP3）の場合…… 3-27

本商品との通信状態を確認するには…… 3-31

3-7　無線 LAN アクセスポイントモードに設定する…… 3-32

4章　クイック設定 Web の使いかた

4-1　クイック設定 Web の使いかた……4-2
クイック設定 Web をご使用になる前に……4-2
クイック設定 Web の起動のしかた……4-4
ポップアップヘルプについて……4-5

5章　契約をする

5-1　WiMAX 回線契約をする……5-2
サインアップする……5-2

6章　便利な機能

6-1　公衆無線 LAN サービス……6-2
接続先設定方法……6-2
6-2　スマートフォンアプリで情報を見る……6-5
情報表示……6-5
6-3　その他の便利な機能……6-7
VPN パススルー機能……6-7
IP パケットフィルタリング……6-7
ポートマッピング……6-7
UPnP 機能……6-7

7章　セキュリティ対策をする

7-1　セキュリティ対策をする……7-2
セキュリティ機能について……7-2

8章　バージョンアップをする

8-1　ファームウェアをバージョンアップする……8-2
ファームウェアをバージョンアップする……8-2
ファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする……8-7

9章　お困りのときには

9-1　トラブルシューティング……9-2
WiMAX に関するトラブル……9-3
公衆無線 LAN サービスに関するトラブル……9-12
クレードル（オプション品）に関するトラブル……9-12
添付の CD-ROM に関するトラブル……9-12
9-2　初期化する……9-13
クイック設定 Web で初期化する……9-13
RESET スイッチで初期化する……9-14

10章　付録

10-1　製品仕様……10-2
WM3600R ハードウェア仕様……10-2
クレードル仕様　※オプション品……10-3
10-2　索引……10-4

「機能詳細ガイド」目次

本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が別紙に記載のホームページにて掲載されています。以下に記載されている項目を示します。

〈機能一覧〉

■ルータ機能■

ブロードバンドルータ機能
ポートマッピング（アドバンスドNATオプション）
IPパケットフィルタリング
DHCPサーバ機能
不正アクセス検出機能
無線LANアクセスポイントモード
（ルータ機能を停止する）
アドバンスドNAT（IPマスカレード/NAPT）
DNSルーティング
ダイナミックポートコントロール機能
DNSフォワーディング
通信情報ログ（アクセスログ機能）
UPnP機能

■WAN側機能■

VPNパススルー機能

■無線機能■

11nテクノロジー無線LAN
IEEE802.11b無線LAN
暗号化
ネットワーク名（SSID）によるセキュリティ機能
マルチSSID
オートチャネルセレクト
らくらく無線スタート機能
WPS機能
デュアルチャネル
IEEE802.11g無線LAN
MACアドレスフィルタリング機能
ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）
ネットワーク分離機能
AirMac対応のパソコンでインターネット接続
らくらく無線スタートEX機能

■その他の機能■

管理者パスワードの変更
情報表示（装置情報、状態表示）
通信確認（疎通確認テスト）
ファームウェアの更新

〈クイック設定Webの使い方〉

〈無線機能の使い方〉

機能一覧（無線）
無線セキュリティ
クイック設定Webの使い方（無線）

〈高度な使い方〉

外部にサーバを公開する
ファイルとプリンタの共有
ネットワーク対応アプリケーション

〈充電池の取り扱い方〉

〈お困りのときには〉

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。詳細は、「メニュー画面」の「本 CD-ROM について」をご覧ください。

■ Windows® パソコン

① 無線 LAN 内蔵パソコンから無線接続を行うらくらく無線スタート EX（Windows Vista® および Windows® 7/XP（SP3）のみ）
② TCP/IP チューンアップウィザード（Windows® XP（SP3）のみ）
③ 本書（PDF ファイル）
④ Windows® XP 用 USB 通信情報ファイル（inf ファイル）

【ご使用上のご注意】

- 添付の CD-ROM をセットして［自動再生］画面が表示されたら、［Menu.exe の実行］をクリックしてください。
- 添付の CD-ROM をセットしても「メニュー画面」が起動しない場合は、以下の操作を行います。
  ①［スタート］（Windows® のロゴボタン）をクリックし、［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［ファイル名を指定して実行］を選択する
  ※ Windows® XP の場合は、［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する
  ② 名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥menu.exe と入力し、［OK］をクリックする（例: CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q：¥menu.exe）
- CD-ROM をパソコンから取り出すときは、「メニュー画面」を閉じたあとに行ってください。
- Windows Vista® および Windows® 7/XP でユーティリティのアンインストールを実行する場合は、Administrator 権限のあるユーザでログオンしてください。
- 音声が使用できること。（パソコンにサウンドデバイスが装備されている）
  らくらく無線スタート EX は、音声ガイドでも案内しています。

CD-ROM の動作環境

- **下記の OS が正しく動作し、CD-ROM が使用できること。**
  ･Windows® 7 の日本語版かつ 32 ビット（x86）版または 64 ビット（x64）版
  ･Windows Vista® または Windows® XP（SP3）の日本語版かつ 32 ビット（x86）版
- **推奨環境**
  ･Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
  ･ハードディスク容量：40MB 以上を推奨
  ･メモリ容量： Windows® 7/Windows Vista® の場合は、2GB 以上を推奨
  Windows® XP の場合、512MB 以上を推奨
  ･800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ
  上記以外でも設定できますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

■ Mac パソコン

① 無線 LAN 内蔵パソコンから無線接続を行うらくらく無線スタート EX（Mac OS X v10.5/v10.6 の日本語版かつ Intel 製 CPU 搭載製品のみ）
② 本書（PDF ファイル）

【ご使用上のご注意】
- らくらく無線スタート EX を使用する場合、添付の CD-ROM をセットしたら、CD-ROM 内の「MAC」フォルダにある「らくらく無線スタート EX」アイコンをお使いの Mac パソコンにドラッグアンドドロップしてください。
  設定手順は、別紙に記載のホームページをご覧ください。
- 音声が使用できること。（パソコンにサウンドデバイスが装備されている）
  らくらく無線スタート EX は、音声ガイドでも案内しています。

CD-ROM の動作環境

- **下記の OS が正しく動作し、CD-ROM が使用できること。**
  Mac OS X v10.5（Intel）の日本語版、Mac OS X v10.6（Intel）の日本語版、または Mac OS X Lion（v10.7）
  （PowerPC 搭載機種では動作しませんのでご注意ください。）
- **推奨環境**
  ＜ Mac OS X v10.5（Intel）＞
  CPU：Intel Core 2 Duo/2GHz 以上
  メモリ：1GB 以上
  USB インタフェース：USB 2.0
  ＜ Mac OS X v10.6（Intel）＞
  CPU：Intel Core 2 Duo/2GHz 以上
  メモリ：1GB 以上
  USB インタフェース：USB 2.0
  ＜ Mac OS X Lion（v10.7）（Intel）＞
  CPU：Intel Core 2 Duo/2GHz 以上
  メモリ：2GB 以上
  USB インタフェース：USB 2.0
- **表示画面**
  ・サイズ：800 × 600 ピクセル以上
  ・色：High-Color（24 ビット）以上
  上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

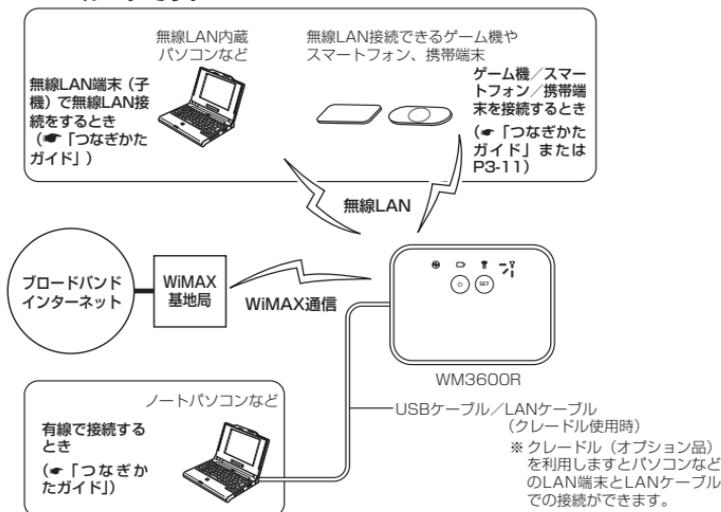
お知らせ

- PDF 形式のファイルをお読みいただくためには、Acrobat Reader 5.0 以上が必要です。Adobe Reader または Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。
- 本商品の対応 OS については、P1-13 を参照してください。

1 準備

1-1　本商品でできること……1-2
1-2　箱の中身を確認しよう……1-7
1-3　各部の名称とはたらき……1-8
1-4　あらかじめ確認してください……1-13

1-1 本商品でできること

本商品は、IEEE802.16e（2.5GHz 帯）の WiMAX ネットワークで WiMAX 基地局と接続し、複数の無線 LAN 端末が同時にインターネットを利用できるよう束ねるモバイル WiMAX ルータです。

インターネットに接続するまでの手順や無線 LAN 設定については、「つなぎかたガイド」を参照してください。
さらに本商品では、ホームページに掲載されている「Ⓦ機能詳細ガイド」で記載している機能をご利用になることができます。設定方法については、それぞれの参照先をご覧ください。

■外出先や移動中に使う

本商品は、外出先や移動中でも、WiMAX ネットワークにワイヤレスで接続してインターネットを利用することができます。

※ 満充電からの電池動作時間は、最大 10 時間となります。
　充電池の充電状態、気温などの使用環境、利用場所の電波状態などにより、利用時間は変わります。

※ 電池残量はバッテリーランプのつきかたで確認することができます。（☛P1-9）

● 公衆無線 LAN サービス

本商品は、公衆無線 LAN サービスに対応しています。（☛P6-2）
公衆無線 LAN サービスエリアの中にいる場合、WiMAX 網を経由しないでインターネットに接続することができます。

※ WiMAX 回線契約と別途公衆無線 LAN サービスの契約が必要です。

ブロードバンド
インターネット
公衆無線LAN通信
SET
WM3600R
無線LAN内蔵パソコン

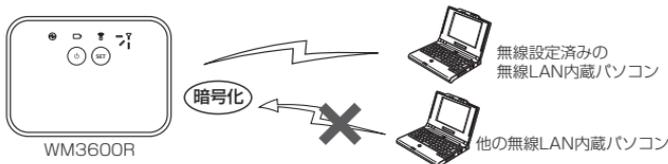
■無線 LAN 通信

● IEEE802.11b、IEEE802.11g または IEEE802.11n に対応した無線 LAN 端末（子機）と無線通信を行うことができます。

※ 無線で届く範囲は環境によって異なります。
※ IEEE802.11n に対応した無線 LAN 端末（子機）と無線通信する場合、伝送速度は最大 150Mbps（規格値）となります。

● 無線 LAN 内のセキュリティ対策

他の無線LANパソコンから接続されたり、通信が傍受されるのを防ぎます。(☛P7-2)

※本商品にはあらかじめ、プライマリ SSID には AES、セカンダリ SSID には WEP の暗号化キーが設定されており、セキュリティがほどこされています。

● 無線 LAN 端末（子機）を増設する（機能詳細ガイド）

無線 LAN 端末（子機）として別売りの次の機器をご利用いただけます。

11n テクノロジーでの通信	：WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/WL300NU-GS/WL300NU-AG/WL300NU-G/WL300NE-AG
IEEE802.11b 通信	：WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/WL54GC/WL54GU/WL54SC/WL54SC2/WL54AG/WL300NU-GS/WL300NU-AG/WL300NU-G/WL54SU/WL54SU2/WL54TU/WL300NE-AG/WL54TE
IEEE802.11g 通信	：WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/WL54GC/WL54GU/WL54SC/WL54SC2/WL54AG/WL300NU-GS/WL300NU-AG/WL300NU-G/WL54SU/WL54SU2/WL54TU/WL300NE-AG/WL54TE

※ 11n テクノロジーでの通信で WL130NC を増設した場合は、デュアルチャネルモード（HT40）の通信はできません。HT20 での通信になります。
※ 11n テクノロジーでの通信では、周辺の電波環境によってデュアルチャネルモード（HT40）での通信ができない場合があります。
有効に機能させるには、セカンダリ SSID を「使用しない」に設定するか、セカンダリ SSID で「AES」または「暗号化無効」の設定にする必要があります。
※ 11n テクノロジーでの通信のとき、WL300NU-AG、WL300NU-G で無線 LAN 接続する場合は、無線 LAN 端末（子機）をパソコンから取り外し、本商品とパソコンを USB ケーブル（添付品）で接続してクイック設定 Web から、暗号化モード「WPA/WPA2-PSK（TKIP)」または「WEP」に変更してから接続してください。
※ WL54AG-SD、WL54AG（S）は WL54AG に含まれます。
※ 接続する無線 LAN 端末（子機）によって通信速度が異なります。

また、本商品が使用している通信規格と同じ通信規格の無線 LAN 内蔵パソコンを増設できます。(パソコンの機種により、機能制限があったり、接続できない場合があります。)
無線 LAN の同時接続は、最大 12 台です。12 台をこえて接続すると、通信が切断したり、つながりにくくなります。また、各 SSID の接続は最大 8 台です。

● WPS 機能に対応

WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応した無線 LAN の自動設定を行うことができます。(☛P3-7、機能詳細ガイド)
設定方法には、SET ボタン(SET)による設定の他、PIN 方式による設定があります。なお、設定するには、無線 LAN 端末（子機）側も WPS に対応している必要があります。

※ WPS とは、Wi-Fi アライアンスが策定した無線 LAN の接続・セキュリティの設定を簡単に行うための規格です。

■セキュリティ対策をする

ルータ機能により、ブロードバンド回線側からの不正なアクセスについてセキュリティ対策をすることができます。(機能詳細ガイド)

- IP パケットフィルタリング
- 不正アクセス検出機能
- ダイナミックポートコントロール機能
- アドバンスド NAT（IP マスカレード／NAPT）

■マルチ SSID

本商品では 2 つの SSID（プライマリ／セカンダリ）を利用可能です。(機能詳細ガイド)

● プライマリ SSID

（初期値：無線 LAN 設定ラベル※に記載されている「ネットワーク名（SSID)」、aterm-xxxxxx-g）

※無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面に貼付しています。

暗号化方式として WEP/TKIP/AES が利用可能。（初期値は AES）

● セカンダリ SSID

（初期値：無線 LAN 設定ラベル※に記載されている「ネットワーク名（SSID)」の末尾に「-gw」がついたもの、aterm-xxxxxx-gw）

※無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面に貼付しています。

暗号化方式として WEP/TKIP/AES が利用可能。（初期値は 128bitWEP）

※セカンダリ SSID には、工場出荷時の状態で下記の制限があります。

・クイック設定 Web が表示できない

・本商品にプライマリ SSID で接続された端末と通信できない。

制限を解除したい場合は、プライマリ SSID に接続した無線ＬＡＮ端末（子機）から、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」ー［無線 LAN 設定］の［対象ネットワークを選択］でセカンダリ SSID を選択し、［無線 LAN アクセスポイント（親機）設定］で［ネットワーク分離機能］を［使用しない］に設定してください。

（機能詳細ガイド）

両 SSID は同時に動作しているため、AES を利用可能な無線 LAN 端末（子機）と、ニンテンドー DS など WEP のみが利用可能な無線 LAN 端末(子機)が共存可能です。

なお、らくらく無線スタート利用時には、無線 LAN 端末（子機）の無線 LAN 規格に応じて、どちらの SSID に接続するかは自動選択・設定されますので、通常、2 つの SSID の存在を意識していただく必要はありません。

■デュアルチャネル

本商品では、無線 LAN 通信で利用する通信チャネルの幅を、従来の 20MHz 幅から 40MHz 幅に拡大することにより、従来比約 2 倍の通信速度（理論値最大 150Mbps)を実現するデュアルチャネル通信機能を搭載しています。(初期値は「使用する」)
本商品でデュアルチャネル通信機能が利用可能な周波数帯は、2.4GHz 帯（計 13 チャネル）です。(機能詳細ガイド)
11n テクノロジーでの通信では、周辺の電波環境によってデュアルチャネルモード（HT40）での通信ができない場合があります。
機能を有効にするには、セカンダリ SSID を「使用しない」に設定するか、セカンダリ SSID で「AES」または「暗号化無効」の設定にする必要があります。

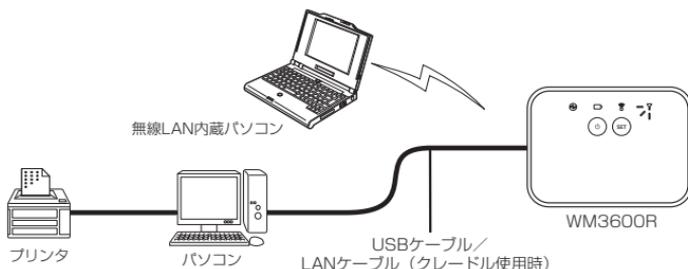
■オートチャネルセレクト

本商品の起動時や無線 LAN 設定を変更した場合に、周囲にあるアクセスポイントを検出し、2.4GHz 帯で電波状態の良いチャネルを自動選択します。(初期値は「使用する」)(機能詳細ガイド)

■ネットワーク分離機能

本商品の「クイック設定 Web」および他の SSID 側の無線 LAN 端末へのアクセスを制限する機能です。
ネットワーク分離機能を「使用しない」に設定すると、ゲーム機などのセカンダリ SSID に接続する機器からも「クイック設定 Web」にアクセスすることができます。

■ファイルやプリンタを他のパソコンと共有する

(機能詳細ガイド)

※本商品の機能ではありません。Windows® の共有機能の設定になります。

■ゲーム機やスマートフォン、携帯端末を接続する

Wii、ニンテンドー DS、ニンテンドー DSi、ニンテンドー 3DS、「プレイステーション 3」、PSP「プレイステーション・ポータブル」および Xbox 360 などネットワークゲーム機を接続することができます。(☛P3-11)
また、スマートフォンなどの携帯端末を接続できます。動作確認済みの端末については、別紙に記載のホームページをご確認ください。

■ECO 設定

無線 LAN 機能の一部を制限することで､消費電力を抑えることができます。クイック設定 Web で設定します。（☛P2-6、機能詳細ガイド）

● 無線 LAN スリープ
USB ケーブルで接続して通信する場合、無線 LAN 機能をスリープさせます。（初期値：使用しない）

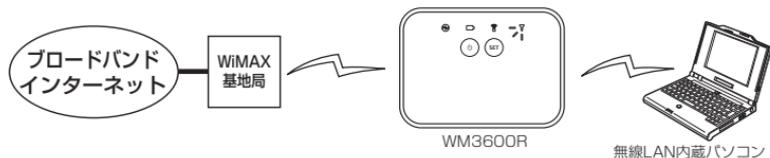
● 自動 LED 消灯
電池動作中に、LED ランプを消灯させることで消費電力を抑えます。（初期値：使用する）

● 自動省電力
WiMAX/WLAN 通信共に一定時間、無通信の場合、ウェイティングや休止状態に移行し消費電力を抑えます。（初期値：ウェイティング）

■パソコンのネットワークゲームや TV 電話を利用する

次の機能を利用して、ネットワークゲームをすることができます。

・ポートマッピングの設定（☛P6-7）

・UPnP 機能の設定（☛P6-7）

■SOHO で使用するときに便利な機能

● 会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN に接続する
（VPN（PPTP/IPsec）パススルー機能）（☛P6-7、機能詳細ガイド）
VPN（Virtual Private Network：仮想閉域網）に PPTP/IPsec で接続できます。

■知っておくと便利な機能

● バージョンアップする（☛P8-2）
ファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、新しい機能を追加したり、場合によっては動作を改善します。

● 設定を保存する（機能詳細ガイド）
クイック設定 Web で、現在の設定内容を保存できます。本商品を初期化した場合に、保存済みのバックアップファイルから本商品に設定内容を復元することができます。

● 初期化する（☛P9-13）
設定内容を工場出荷の状態に戻します。
うまく動作しない場合や、もう一度はじめから設定したいときにお使いいただけます。

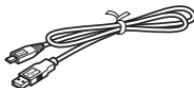
1-2 箱の中身を確認しよう

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別紙に示すお問い合わせ先にご連絡ください。

● 構成品

□ WM3600R

パネル表面には保護シートが貼ってあります。

□ USB ケーブル

□ WM3600R 用 AC アダプタ

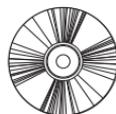
本商品を充電する際に使用します。（☛P2-3）

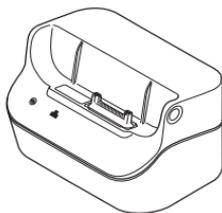
（品番：AL1-002272）

※ AC アダプタの形状は変更になる場合があります。

□ つなぎかたガイド（別紙）

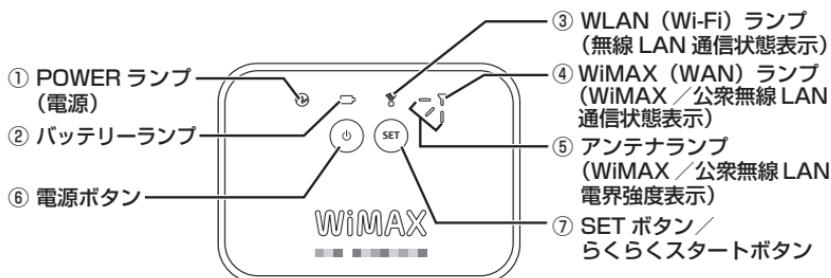
□ CD-ROM

らくらく無線スタート EX、Windows® XP（32 ビット）用 USB 通信情報ファイル（inf ファイル）や取扱説明書（本書）を収録しています。（☛P18）

● 構成品（クレードル）※オプション品

□ クレードル

□ LAN ケーブル

□ 取扱説明書（クレードル用）

1-3 各部の名称とはたらき

WM3600R

【ランプ表示】

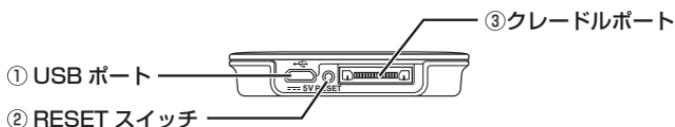
ランプの種類		色	状態	本商品の状態
①POWER ランプ（電源）	通常運用状態	緑	点灯	電源が入っているとき
		緑	点滅	起動中
		緑	遅い点滅（約 5 秒間隔）	自動 LED 消灯中／ウェイティング中（バッテリー /WLAN/WiMAX/アンテナの各ランプは、消灯）
		緑　橙（3 秒）（0.5 秒）	交互点滅	新しいファームウェアが存在しているとき（☛P8-2）
		橙	点灯	ファームウェアをバージョンアップしているとき
				サインアップで契約情報書き込み中のとき
		赤	点灯	シャットダウン中（電源 OFF にしているとき）
				電池残量がほとんどない状態で電源ボタン⏻を押したとき ※電池残量が 0%に近い場合、電源ボタン⏻を押している間、赤点灯しています。充電してください。
		赤	点滅	初期化準備状態
		ー	消灯	電源が入っていないとき
				休止状態（全 LED 消灯） ※電源が入っていない状態か休止状態かを確認するときは、SET ボタン㊜を押してください。電池残量の確認ができれば休止状態です。（☛バッテリーランプ参照）

ランプの種類		色	状態	本商品の状態
①POWER ランプ（電源）	**無線設定動作中**	緑	点滅	らくらく無線スタートで設定をしているとき（☛「つなぎかたガイド」）
		橙	点滅	らくらく無線スタートで設定をしているとき（☛「つなぎかたガイド」）
		緑　橙	交互点滅	WPS で設定をしているとき（☛P3-7）
		橙	点灯	らくらく無線スタートで設定が完了したとき
				WPS で設定が完了したとき
		赤	点灯（約 10 秒間）	らくらく無線スタートで設定に失敗したとき
		赤	点滅	WPS で設定に失敗したとき
②バッテリーランプ		緑	点灯	電池の残量が約 10%以上のとき
		緑	遅い点滅（1 秒間隔）	電池の残量が約 5%以上約 10%未満のとき
			速い点滅（0.5 秒間隔）	電池の残量が約 5%未満のとき
		橙	点灯	充電中
		ー	消灯	充電完了（電源 OFF 時）
				自動 LED 消灯中、ウェイティング中、休止状態、電源が入っていないとき ※電源が入っていない状態か休止状態かを確認するときは、SET ボタン(SET)を押してください。電池残量の確認ができれば休止状態です。
③WLAN（Wi-Fi）ランプ（無線 LAN 通信状態表示）	**WiMAX 経由で利用**	緑	点灯	無線 LAN が使用可能なとき
		緑	点滅	無線 LAN でデータ送受信しているとき
		ー	消灯	無線 LAN スリープしているとき（USB 接続時の設定）
				自動 LED 消灯中、ウェイティング中、休止状態、電源が入っていないとき
				無線 LAN を OFF（使用しない設定）にしているとき
	公衆無線 LAN 経由で利用	橙	点灯	公衆無線 LAN が使用可能なとき
		橙	点滅	公衆無線 LAN でデータ送受信しているとき

ランプの種類		色	状態	本商品の状態
④WiMAX（WAN）ランプ（WiMAX ／公衆無線 LAN 通信状態表示）	WiMAX 経由で利用	緑	点灯	WiMAX 接続で通信しているとき
		緑	点滅	WiMAX 接続処理中
		緑　橙 （1 秒）（1 秒）	交互点滅	サインアップ中のとき
		赤	点灯	WiMAX 接続に失敗したとき
		赤	点滅	サービス加入契約が完了していないとき
		―	消灯	WiMAX が圏外のとき
				サインアップで契約情報書き込み中のとき
				自動 LED 消灯中、ウェイティング中、休止状態、電源が入っていないとき
				無線 LAN アクセスポイントモードのとき（クレードル使用）
	公衆無線 LAN 経由で利用	橙	点灯	公衆無線 LAN 接続中
		橙	点滅	公衆無線 LAN 接続処理中
		―	消灯	公衆無線 LAN が圏外のとき
⑤アンテナランプ（WiMAX ／公衆無線 LAN 電界強度表示）		緑	3 本点灯	強レベル
		緑	2 本点灯	中レベル
		緑	1 本点灯	弱レベル
		―	消灯	WiMAX ／公衆無線 LAN が圏外のとき
				自動 LED 消灯中、ウェイティング中、休止状態、電源が入っていないとき
				無線 LAN アクセスポイントモードのとき（クレードル使用）

※自動 LED 消灯とウェイティングは、工場出荷時「使用する」に設定されています。（☛P2-6）
すべての LED が消灯し、POWER ランプのみが約 5 秒間隔の遅い点滅をします。

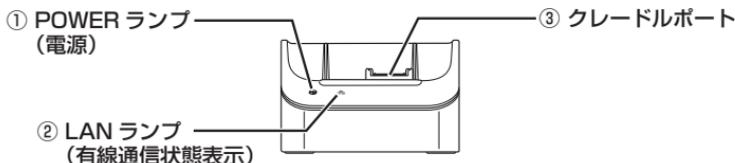
名　称	説　明
⑥電源ボタン	電源の ON/OFF を行います。
	自動 LED 消灯、ウェイティングまたは休止状態からアクティブ（LED 通常点灯）にするときに使用します。
⑦SET ボタン／らくらくスタートボタン SET	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。（☛「つなぎかたガイド」）
	WPS を設定するときに使用します。
	ファームウェアの更新をするときに使用します。
	WiMAX 通信が失敗した場合、再度 WiMAX のネットワークに接続するときに使用します。
	自動 LED 消灯、ウェイティングまたは休止状態からアクティブ（LED 通常点灯）にするときに使用します。
	電池残量の確認をするときに使用します。

● 側面図

名　称	説　明
① USB ポート	AC アダプタを接続して充電するときに使用します。（☛P2-3） また、USB ケーブルを接続して WiMAX 通信するときに使用します。
② RESET スイッチ	初期化するときに使用します。（☛P9-14）
	ファームウェアの更新をするときに使用します。（☛P8-2）
③クレードルポート	クレードルを接続します。※クレードルはオプション品です。

お知らせ

●本商品は工場出荷時の状態で自動 LED 消灯機能と省電力状態切り替え機能でウェイティングが設定されています。SET ボタン(SET)を押して一時的に解除した場合、LED が約 3 分間のみ通常点灯します。
ただし、下記の条件では自動 LED 消灯は無効となります。
・サービス加入契約が完了していない場合
・WPS で無線設定を実行中
・らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX を実行中
・ファームウェアのバージョンアップ中
・初期化準備中

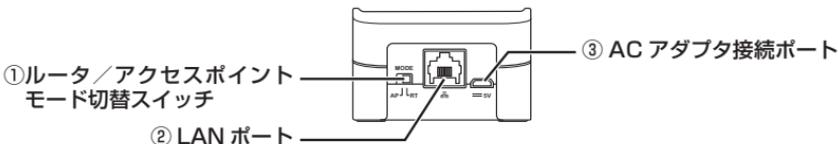
●下記のような使用状況により、本体が高温になった場合は、自動的に動作を停止します。
・直射日光に当たるところで使用した場合
・高温下で充電しながら使用した場合
・かばんなどに入れて密封して使用した場合
その場合、本体温度が下がってから電源を入れてください。

クレードル　※オプション品

【ランプ表示】

ランプの種類	色	状態	本商品の状態
①POWER ランプ（電源）	緑	点灯	AC アダプタで給電しているとき
	―	消灯	AC アダプタで給電していないとき
②LAN ランプ（有線通信状態表示）	緑	点灯	LAN ポートのリンクが確立しているとき
	緑	点滅	LAN ポートがデータ送受信しているとき
	―	消灯	LAN ポートのリンクが確立していないとき

【クレードルポート】

名称	説明
③クレードルポート	WM3600R を接続します。

● 背面図

名称	説明
①ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチ	無線 LAN アクセスポイントモード（AP 側）へ切り替えることにより、WiMAX ／公衆無線 LAN ／ルータ機能を停止させます。 ※ 工場出荷時は、ルータモード（RT 側）です。
②LAN ポート	LAN ケーブルで、パソコンまたはゲーム機などと接続します。
③AC アダプタ接続ポート	AC アダプタを接続して充電するときに使用します。（☛P2-4）

お知らせ

●AC アダプタ接続ポートとパソコンの USB ポートを USB ケーブル（添付品）で接続しても、USB ケーブル経由で通信はできません。

1-4 あらかじめ確認してください

本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

接続端末の準備

お使いの接続端末が本商品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- **WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」になっていること（☛P1-16）**
- **ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止**
  本商品設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。停止しない（起動したままでいる）と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）
- **クイック設定 Web で設定を行う場合は、JavaScript を有効にする設定にしておくこと（☛P1-17）**

〈USB で接続する場合〉

- **USB ポート（USB2.0 推奨）が装備されていること**
  ※ USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 でのご使用をお勧めします。

〈無線 LAN で接続する場合〉

- **無線 LAN が装備されていること**

〈クレードル（オプション品）を使用して LAN ポートに有線で接続する場合〉

- **LAN ポートが装備されていること**
- **TCP/IP プロトコルスタックに対応していること**
  必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。
- **パソコンのネットワーク設定を確認すること（☛P1-14）**

〈接続可能な機器〉

OS など	WLAN（Wi-Fi）接続	USB 接続
Windows®	○	○
Macintosh	○	○
その他 OS（Linux など）	○	×
ゲーム機／スマートフォンなど	○	×

※ Windows® 7 をご利用の場合
本商品は、Windows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版または 64 ビット（x64）版のみに対応しています。
本商品の Windows® 7 のサポートは、Windows® 7 がプリインストールされているパソコン、またはメーカが Windows® 7 の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。

※ Windows Vista® をご利用の場合
本商品は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版のみに対応しています。
Windows Vista® がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコンまたはメーカが Windows Vista® の利用を保証しているパソコンのみサポートしています。
自作のパソコンはサポートしておりません。

※ Mac OS をご利用の場合
本商品は、Mac OS X v10.5（Intel）および Mac OS X v10.6（Intel）、Mac OS X Lion v10.7（Intel）の各日本語版のみに対応しています。PowerPC 搭載機種には対応していません。

お願い

●OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめホームページから本商品の最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

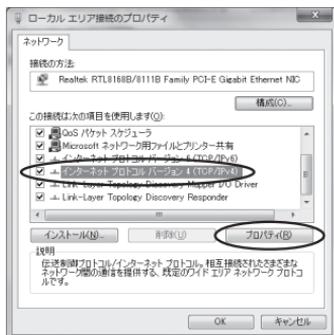
パソコンのネットワークの確認（有線接続の場合）

パソコンのネットワークの設定が、Windows® の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows® 7/Windows Vista® の場合

1. ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する
2. ［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］をクリックし、［アダプターの設定の変更］をクリックする

   ※ Windows Vista® の場合は、［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］をクリックし、［タスク］欄の［ネットワーク接続の管理］をクリックします。
3. ［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

   ※有線接続の場合は［ネットワーク接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。
4. ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［はい］または［続行］をクリックする
5. ［インターネットプロトコル　バージョン 4(TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックする

（画面は Windows® 7 の例です。）

6. ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する
7. ［OK］をクリックする
8. ［閉じる］または［OK］をクリックする

お知らせ

- Windows® 7/Windows Vista® の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows® 7 の通常表示モード（カテゴリ表示）、Windows Vista® の通常表示モード（コントロールパネルホーム）を前提に記述しています。

Windows® XP をご利用の場合

1. ［スタート］－［コントロールパネル］を選択する
2. ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［ネットワーク接続］をクリックする
3. ［ワイヤレスネットワーク接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする
4. ［全般］タブをクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックする
5. ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する

6. ［OK］をクリックする
7. ［OK］または［閉じる］をクリックする

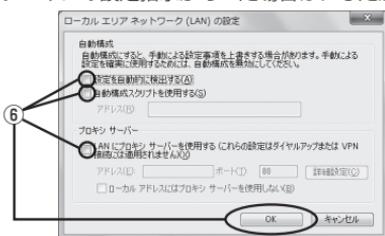
お知らせ

- Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows® XP の通常表示モード（カテゴリ表示）を前提に記述しています。

WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ（Internet Explorer など）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。
以下は Windows® 7で Internet Explorer 9.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカにお問い合わせください。

① Internet Explorer を起動する。
② [ツール] の [インターネットオプション] を選択する。
③ [接続] タブをクリックする。
④ ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択する。
※グレーアウトしている場合は、⑤にお進みください。

⑤ [LAN の設定] をクリックする。
⑥ [設定を自動的に検出する]、[自動構成スクリプトを使用する]、[LAN にプロキシサーバーを使用する] の ☑ を外して [OK] をクリックする。
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。

⑦ [OK] をクリックする。

お知らせ

● プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカにご確認ください。

JavaScript の設定を確認する

WWWブラウザ（クイック設定 Web）で設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。

※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを高く設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript を「有効にする」に設定してください。

Internet Explorer をご利用の場合（Windows® 版）

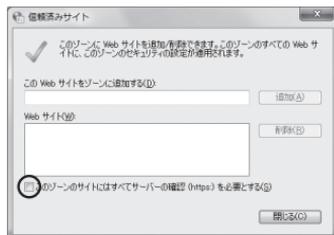
以下は、Windows® 7 で Internet Explorer 9.0 を使用している場合の例です。なお、Windows Vista® および Windows® XP で設定する場合も、下記と同様の手順で設定できます。

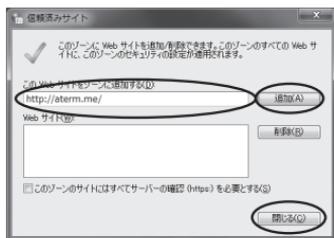
1. ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［インターネットオプション］をクリックする

   ※ Windows Vista® または Windows® XP をご利用の場合は、［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［クラシック表示］（または［クラシック表示に切り替える］）－［インターネットオプション］をクリックします。

2. ［セキュリティ］タブをクリックし、［信頼済みサイト］をクリックする

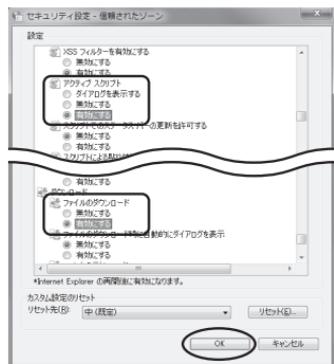
3. ［サイト］をクリックする

4. ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認（https:）を必要とする］のチェックを外す

（次ページに続く）

5 ［このWebサイトをゾーンに追加する］に「http://aterm.me/」を入力し［追加］をクリックし、［閉じる］をクリックする

※クイック設定Webによる初期化(☛P9-13)を行うと、再起動後は自動的に本商品の工場出荷時のIPアドレス（192.168.0.1）でクイック設定Web画面が開きますので、本商品のIPアドレス「http://192.168.0.1/」も追加することをお勧めします。

※IPアドレス（工場出荷時は192.168.0.1）を入力して設定画面を開く場合には、IPアドレスを入力します。（例:「192.168.0.1」）IPアドレスを変更した場合は、設定したIPアドレスを入力してください。

6 ［レベルのカスタマイズ］をクリックする

7 画面をスクロールし、［アクティブスクリプト］と［ファイルのダウンロード］を［有効にする］に変更し、［OK］をクリックする

8 ［はい］をクリックする

9 ［適用］をクリックする

10 ［OK］をクリックする

Firefox をご利用の場合（Windows® 版）

以下は、Windows® 7 で Firefox 3.6 を使用している場合の例です。

1. Firefox を起動する
2. メニューバーの［ツール］－［オプション］をクリックする
3. ［コンテンツ］をクリックする
4. ［JavaScript を有効にする］にチェックを入れる
5. ［OK］をクリックする

Windows® で Opera をご利用の場合の設定方法は「機能詳細ガイド」をご覧ください。

Google Chrome をご利用の場合

以下は、Windows® 7 で Google Chrome 11 を使用している場合の例です。

1. Google Chrome を起動する

2. [Google Chrome の設定] ─ [オプション] をクリックする

3. [高度な設定] をクリックする

4. 「プライバシー」にある [コンテンツの設定…] をクリックする

5. 「Javascript」で「すべてのサイトで Javascript の実行を許可する(推奨)」を選択する

6. Google Chrome を閉じる

Safari をご利用の場合（Mac 版）

以下は、Mac OS X v10.6 Snow Leopard で Safari 5.0 を使用している場合の例です。

1. Safari を起動する
2. メニューバーの［Safari］－［環境設定］をクリックする
3. ［セキュリティ］をクリックする
4. ［JavaScript を有効にする］にチェックを入れる

5. メニューバーの［Safari］から［Safari 終了］をクリックし、Safari を終了させる

Mac OS で Firefox をご利用の場合、または、Mac OS で Opera をご利用の場合の設定方法は「機能詳細ガイド」をご覧ください。

iOS で Safari をご利用の場合

以下は iOS 4.2 で Safari 5.0 を使用している場合の例です。

1 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする

2 設定メニューの「Safari」をタップする

3 [JavaScript] ボタンが「オフ」になっている場合は、ボタンをタップして「オン」にする

2 充電をする

2-1 電源 ON/OFF のしかた……………………………2-2

2-2 充電のしかた……………………………………2-3

2-3 ECO 設定…………………………………………2-6

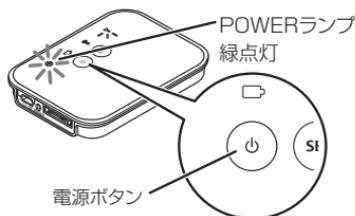
2-4 ロングライフ充電 ……………………………2-8

2-1 電源 ON/OFF のしかた

電源の ON/OFF は、本商品の電源ボタン ⏻ で行います。

本商品の電源を ON にする場合は、POWER ランプが緑点滅するまで電源ボタン ⏻ を押してください。起動完了するまでに約 1 分かかります。
POWER ランプが緑点灯し、各ランプが順次点灯します。

※ あらかじめ WiMAX サービス加入契約している場合は、初回起動時に契約情報の書き込み（約 5 分）が行われます。書き込み中は、POWER ランプが橙点灯し、WiMAX（WAN）ランプとアンテナランプは消灯します。その後再起動（約 1 分）しますので、起動後、しばらく待って WiMAX（WAN）ランプが緑点灯するのを確認してください。

本商品を電源 OFF にする場合は、POWER ランプが赤点灯するまで電源ボタン ⏻ を長押しし、赤点灯したら放します。POWER ランプが消灯し、電源 OFF になります。
電源ボタン ⏻ を押している途中で、LED が全消灯しますが、そのまま押し続けてください。
LED 全消灯で電源ボタン ⏻ を放すと休止状態になります。休止状態から電源 OFF する場合は、いったん POWER ランプが緑点灯してから電源 OFF します。

お知らせ

- 電源を ON にしても POWER ランプが点灯しない場合は、AC アダプタを接続して 30 分以上充電してから電源を入れ直してください。
- 電源を ON にしようとして POWER ランプが赤点灯する場合は、電池残量が残っていない状態です。AC アダプタを接続するか、充電を完了してから電源を入れなおしてください。
- 本商品は、工場出荷時の状態で自動 LED 消灯機能と省電力状態切り替え機能のウェイティングが設定されています。起動後、約 3 分間はアクティブ（LED 通常点灯）になります。その後、POWER ランプのみ約 5 秒間隔の遅い点滅を繰り返します。

2-2 充電のしかた

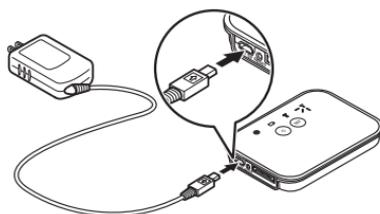
本商品の充電は、添付の AC アダプタで充電することができます。また、充電しながら無線 LAN 端末の利用ができます。ただし、充電時間が長くなります。
添付の AC アダプタや専用のクレードルを使用して充電してください。

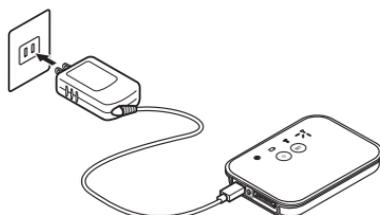
※ 充電は、USB ケーブル経由でパソコンの USB ポートからの充電も可能です。なお、USB ポートからの充電は、AC アダプタを使用した場合よりも充電時間が長くなります。
※ 満充電したい場合、ロングライフ充電を設定しているときは、設定を「使用しない」にして充電してください。
※ 低温または高温の環境では、本体の保護のため充電が中止されます。充電は0℃〜35℃の環境で行ってください。
※ 本商品の USB ハブとの接続は保証の限りではありません。

充電のしかた

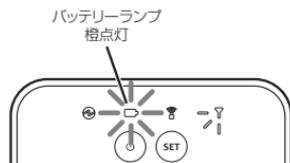
本体に直接接続する場合

1 **本商品の USB ポートに、AC アダプタ（添付品）の USB プラグを接続する**

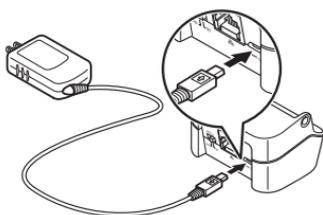
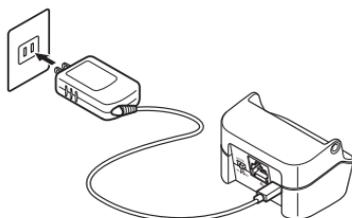
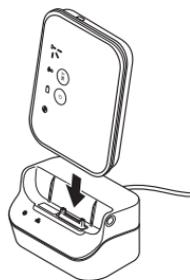
※USB プラグは矢印のついている面が上です。

2 **AC アダプタ（添付品）の電源プラグを電源コンセントに接続する**

AC アダプタは、必ず本商品に添付のもの（ラベルに「AL1-002272」と記載されているもの）をお使いください。

3 **バッテリーランプが橙点灯することを確認する**

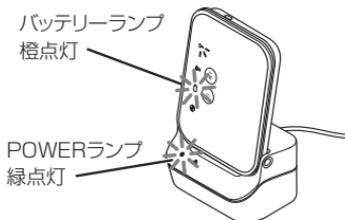
充電は約 4 時間で完了します。（電源 OFF で、電池残量がない状態から充電した場合）

充電が完了すると、バッテリーランプが消灯します。（動作中の充電の場合は、緑点灯になります。）

クレードルに接続する場合　※クレードルはオプション品です。

1 **クレードルの AC アダプタ接続ポートに AC アダプタ（添付品）の USB プラグを接続する**

※USB プラグは矢印のついている面が上です。

2 **AC アダプタ（添付品）の電源プラグを電源コンセントに接続する**

3 **クレードルに奥まで確実にセットする**

4 **本体のバッテリーランプが橙点灯し、クレードル側の POWER ランプが緑点灯する**

充電は約 4 時間で完了します。（電源 OFF で、電池残量がない状態から充電した場合）

充電が完了すると、バッテリーランプが消灯します。（動作中の充電の場合は、緑点灯になります。）

充電時間

AC アダプタでの充電時間（電池残量がない状態から満充電となるまで）は、約 4 時間です。

動作時間

満充電からの電池動作時間は、最大 10 時間となります。
充電池の充電状態、気温などの使用環境、利用場所の電波状態などにより、利用時間は変わります。

電池残量

電池残量をクイック設定 Web 画面で確認することができます。「ECO 設定」－［ECO 設定］の［電池残量］で確認します。1%単位でお知らせします。

※ クイック設定 Web ページで確認できる電池残量の%値や LED の点滅回数による電池残量表示は、機器の動作状態（AC アダプタ給電、USB 給電、送信出力、通信量）によって大きく変動する場合があります。実際の電池残量を保証するものではありません。
電池を充電するタイミングの参考にお使いください。

SET ボタン(SET)を押して電池残量を確認することができます。アクティブ（LED 通常点灯）、休止状態のときに SET ボタン(SET)を短押しするとバッテリーランプが緑点灯中に橙点滅します。橙点滅の回数で電池残量が確認できます。（☛「つなぎかたガイド」）

USB ケーブルを接続して充電している場合は、LED 表示での電池残量確認はできません。
また、SET ボタン(SET)を押しても確認できない場合は、クイック設定 Web 画面の「ECO 設定」－［ECO 設定］の［電池残量 LED 表示］が「表示する」にチェックされているか確認してください。（初期値：表示する）
スマートフォンアプリで確認することもできます。（☛P6-5）

お知らせ

- 充電池の寿命は、お客様のご利用環境により変わります。
充電のしかたによっては、劣化しやすくなりますので、寿命を延ばす利用方法をお勧めします。
  - ・充電はバッテリーランプが点滅してからの充電をお勧めします。
  - ・高温になる場所に置かないでください。長時間放置する場合は、涼しい場所に置いてください。
  - ・落とさないでください。強い衝撃を与えると故障します。
  - ・必要に応じて「ロングライフ充電」機能をご活用ください。
- 充電池は、お客様ご自身で交換することはできません。交換については、別紙に記載のホームページをご確認ください。

2-3 ECO設定

無線 LAN スリープ

本商品を USB ケーブルで接続して通信する場合、無線 LAN 機能をスリープさせて消費電力を抑えます。

クイック設定 Web 画面で設定できます。「詳細設定」－「その他の設定」の［USB 接続時設定］で設定します。初期値は「使用しない」です。

自動 LED 消灯

電源を入れてから、約 3 分が経過すると LED を消灯させて消費電力を抑えます。
WiMAX 通信をご利用できます。AC アダプタ接続、USB 接続およびクレードル接続している場合は、自動 LED 消灯は無効となります。
※ WiMAX サービス加入契約が完了していないと自動 LED 消灯は無効です。

クイック設定 Web 画面で設定できます。「ECO 設定」の［ECO 設定］－［自動 LED 消灯］で設定します。初期値は、「使用する」です。

自動 LED 消灯に設定しているときは、POWER ランプ以外は消灯します。POWER ランプは約 5 秒間隔の遅い点滅を繰り返します。
電池残量が約 10%未満になった場合は、バッテリーランプのみ通常点灯になります。

自動省電力

WiMAX/WLAN 通信共に一定時間、無通信であった場合、設定の状態に移行し、消費電力を抑えます。
※ WiMAX サービス加入契約が完了していないと、設定した状態には自動的に移行しません。

クイック設定 Web 画面で設定できます。「ECO 設定」－「自動省電力設定」－[省電力状態切り替え機能] で設定します。
設定は、「ウェイティング」「休止状態」「電源 OFF」「使用しない」から選択できます。
工場出荷時は、「ウェイティング」に設定されています。

「ウェイティング」、「休止状態」、「電源 OFF」を選択した場合は、選択した状態に移行する時間を [省電力状態切り替え設定時間] にて設定します。初期値は「10 分」です。

ウェイティング

本商品の電源を入れ、起動完了してから USB ／クレードルの接続、Wi-Fi 接続がない場合、一定時間（初期値：10 分）が経過するとウェイティング（POWER ランプが約 5 秒間隔の遅い点滅）になります。ただし、無線 LAN 子機の検出状況によっては、設定している時間よりも長くなる場合があります。
※ 一部の無線 LAN 子機では、無通信でも接続が維持されてしまい、一定時間が経過してもウェイティングに入らない場合があります。そのときは、子機側の Wi-Fi 接続を OFF にしてください。

WiMAX 通信は切断されます。
AC アダプタ接続、USB 接続およびクレードル接続している場合は、ウェイティングは無効となります。

ウェイティング中は、POWER ランプのみが緑点滅し、その他のランプは消灯しています。ウェイティング中の待機可能時間は、は約 25 時間です。

＜ウェイティングに設定するには＞

本商品は、工場出荷時「ウェイティング」に設定されています。
クイック設定 Web 画面で設定できます。「ECO 設定」の［ECO 設定］－ [省電力状態切り替え機能] で設定します。
[省電力状態切り替え設定時間] でウェイティングに移行する時間を設定します。初期値は「10 分」です。

＜ウェイティングからの復帰＞

ウェイティングからの復帰は、USB ／クレードル、AC アダプタの接続、無線 LAN 端末（子機）を接続した場合、または SET ボタン(SET)／電源ボタン⏻を押したときに復帰します。
SET ボタン(SET)／電源ボタン⏻を押すとアクティブになります。

休止状態

全ランプ消灯します。WiMAX 通信は切断されます。約 15 秒でアクティブへ復帰できます。休止状態のときに SET ボタン(SET)を短押しすると、バッテリーランプの点滅で電池残量を確認することができます。
休止状態に設定した場合、約 170 時間待機できます。

＜休止状態に設定するには＞

電源ボタン⏻を押して、休止状態に移行できます。アクティブ（LED 通常点灯）のときに、2秒以上電源ボタン⏻を押すと LED ランプが全消灯します。
クイック設定 Web 画面で設定できます。「ECO 設定」の［ECO 設定］－ [省電力状態切り替え機能] で「休止状態」を選択します。
[省電力状態切り替え設定時間] で休止状態に移行する時間を設定します。初期値は「10 分」です。

＜休止状態からの復帰＞

POWER ランプが緑点灯するまで電源ボタン⏻を押してください。約 15 秒で、アクティブになります。

 お知らせ

- 自動 LED 消灯は、下記の条件では無効となります。
  - ・サービス加入契約が完了していない場合
  - ・WPS で無線設定を実行中
  - ・らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX を実行中
  - ・ファームウェアのバージョンアップ中
  - ・初期化準備中
- 本商品がウェイティングに移行するとき、一部の無線 LAN 子機では、無通信でも接続が維持されてしまい、一定時間が経過してもウェイティングに入らない場合があります。そのときは、子機側の Wi-Fi 接続を OFF にしてください。
- 休止状態の LED は、すべて消灯し、電源が入っていないように見えます。
  電源が入っていない状態か休止状態かを確認するときは、SET ボタン(SET)を短押ししてください。バッテリーランプが緑点灯中に橙点滅して電池残量の確認ができれば休止状態です。

2-4 ロングライフ充電

ロングライフ充電

本商品を充電するときに、充電残量が 70%程度になったら充電を停止します。電池寿命を長持ちさせたい場合に、この機能を使うと便利です。
ロングライフ充電を利用する場合は、本商品自体の充電管理をする必要があるため、充電時も常に本商品の電源を入れた状態でご使用いただくことをお勧めします。
クイック設定 Web 画面で設定します。（機能詳細ガイド）
「ECO 設定」の［ECO 設定］－［ロングライフ充電］で設定します。初期値は、「使用しない」です。

お知らせ

● 充電池について

充電池は、常に満充電状態や高温に長時間置いた状態にすると電池寿命が短くなってしまいます。あまり使用していないのに毎日充電すると、常に満充電状態になっていることになり、電池寿命を縮めてしまいます。

3 利用端末を接続する

3-1　本商品を接続する……3-2

3-2　無線LANを設定する……3-5

3-3　パソコンなどから無線LANを簡単に設定する……3-6

3-4　無線LANでiPad/iPod touch/iPhoneから接続する……3-10

3-5　無線LAN内蔵のゲーム機から接続する……3-11

3-6　Windows Vista® およびWindows® 7/XPの「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する……3-12

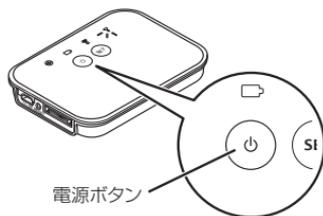
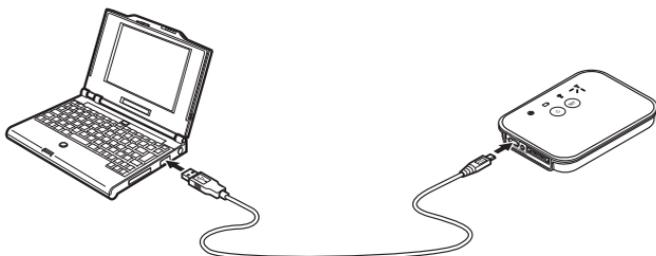
3-7　無線LANアクセスポイントモードに設定する……3-32

3-1 本商品を接続する

本商品を接続するには、USB 接続と無線 LAN（WLAN）接続、有線 LAN 接続があります。
接続については、「つなぎかたガイド」の STEP2 を参照してください。

USB で接続する

1 **本商品の電源を入れる**

POWER ランプが緑点滅し、本商品が起動完了するまでに約 1 分かかります。
POWER ランプが緑点灯し、バッテリー、WLAN（Wi-Fi）、WiMAX（WAN）、アンテナの各ランプが順次点灯します。
※WiMAX ランプは未契約の場合、赤点滅します。

2 **本商品の USB ポートとパソコンの USB ポートを USB ケーブル（添付品）で接続する**

Windows® XP（SP3）パソコンの USB でネットワークに接続する場合

本商品を USB 接続ではじめてネットワーク接続する場合には、以下の設定が必要です。
※ Windows® 7、Windows Vista® については設定不要です。

Windows® XP をお使いの場合には、以下の手順でドライバをインストールしてください。

① 「ハードウェアの更新ウィザード」画面が表示される

② 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする

③ ［いいえ、今回は接続しません］を選択し、［次へ］をクリックする

④ インストール方法を選択で、［一覧または特定の場所からインストール］を選択し、［次へ］をクリックする

⑤ ［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索」にチェックされているのを確認して［次へ］をクリックする

⑥ ［完了］をクリックする

Mac パソコンの USB でネットワークに接続する場合

本商品を USB 接続ではじめてネットワーク接続する場合には、以下の設定が必要です。

① 本商品を USB 接続すると「新しいネットワークインターフェイスが検出されました」と画面表示される

② ［“ネットワーク”環境設定］をクリックする

③「ネットワーク」の画面が表示されたら、IPv4 の構成で「DHCP サーバを使用」が表示されているのを確認し、［適用］をクリックする

お願い

●USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 でのご使用をお勧めします。
なお、対応しているすべてのパソコンについて動作保証するものではありません。動作確認済みのパソコンは別紙に記載のホームページでご覧ください。
本商品の USB ハブとの接続は保証の限りではありません。
Windows® XP（SP3）は、32 ビット版のみ対応しています。

●USB ポートの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

●本商品を USB ケーブル経由でパソコンに取り付けた状態でスタンバイ（サスペンド／レジューム）または休止（ハイバネーション）を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず USB ケーブルを取り外してから、スタンバイ（サスペンド／レジューム）または休止（ハイバネーション）を行ってください。
また､本商品を USB ケーブル経由でパソコンに取り付けた状態で再起動や電源を入れると､正常に動作しない場合があります。この場合、パソコンを起動する前に USB ケーブルを取り外してください。

●本商品を USB ケーブル経由でパソコンに取り付けても動作しない場合は、いったん USB ケーブルを取り外したうえで約 5 秒以上待ってから再度取り付けてください。（お使いのパソコンや環境によっては、約 5 秒待ってから取り付けても正しく認識できない場合があります。その場合は、さらに時間をおいて、いったん本商品の電源を OFF/ON してから取り付けてください。）

●必ず添付の USB ケーブルをご使用ください。他の USB ケーブルを使用されますと、正常に動作しない場合があります。

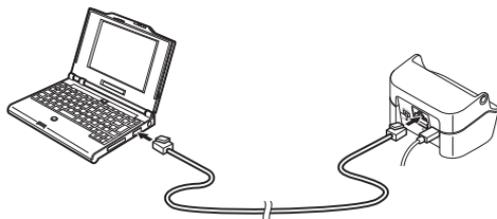
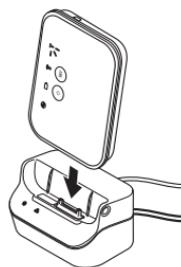
クレードル（オプション品）で有線 LAN 接続する

1 **本商品の電源を入れる**

POWER ランプが緑点灯し、本商品が起動完了するまでに約 1 分かかります。
POWER ランプが緑点灯し、バッテリー、WLAN（Wi-Fi）、WiMAX（WAN）、アンテナの各ランプが順次点灯します。

※WiMAX ランプは未契約の場合、赤点滅します。

2 **クレードルの LAN ポートとパソコンの LAN ポートを LAN ケーブルで接続する**

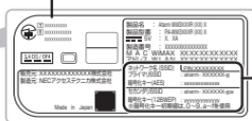
ルータ／アクセスポイント切替スイッチを RT 側にしてください。

3 **クレードルに奥まで確実にセットする**

4 **クレードルの LAN ランプが緑点灯／緑点滅しているのを確認する**

お願い

- 本商品をクレードルに接続する場合は、クレードル側のポートと本商品側のポートを合わせてください。
  向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。
- LAN ケーブルは、カチッと音がするまで差し込んでください。

3-2 無線 LAN を設定する

この章では、本商品に無線 LAN 接続する場合の設定について説明しています。
無線 LAN 接続するには、本商品の裏面に記載されている無線設定（ネットワーク名（SSID）、暗号化キー）を、ご利用の無線 LAN 端末（子機）側に設定します。

無線LAN設定ラベル

裏面ラベルの「ネットワーク名（SSID）」には、上段にプライマリ SSID、下段にセカンダリ SSID の無線設定内容（SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。
※暗号化キー初期値は、0～9、a～f を使用

[無線設定内容（初期値）]

下記の「xxx…」「yyy…」は装置ごとに違う値ですので、本商品の裏面ラベルをご確認ください。

ネットワーク名（SSID）			暗号化キー	暗号化
プライマリ SSID	2.4GHz	aterm-xxxxxx-g	xxxxxxxxxxxxx	AES
セカンダリ SSID	2.4GHz	aterm-xxxxxx-gw	yyyyyyyyyyyyy	WEP（128bit）

● **ネットワーク名（SSID）**

マルチ SSID 機能により、本商品には 2 つのネットワーク「プライマリ SSID」「セカンダリ SSID」があります。初期値については、上記の表を参照してください。

※ AES に対応していない無線 LAN 端末（子機）（ニンテンドー DS など）は、セカンダリ SSID に接続してください。

● **暗号化キー**

暗号化キーは、セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキー、パスワードとも呼ばれています。

初期値は、半角英数 13 桁（0 ～ 9、a ～ f を使用）に設定されています。

※ アルファベットの大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。

※「b」（ビー）と「6」（ロク）を間違えないようご注意ください。なお「o」（オー）は使用していません。

※ 暗号化方式が WEP の場合は、下記を参考に設定してください。

・WEP では OpenSystem 認証を使用しています。
・キーは自動的に提供されません。また、キーインデックスは「1」となります。
・IEEE802.1X は使用していません。
・英数字を 16 進数で入力する場合は読み替えてください。

読み替え方法：

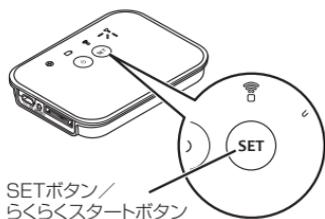
英数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
16 進数	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	61	62	63	64	65	66

読み替え例：

0123456789abc → 30313233343536373839616263

3-3 パソコンなどから無線 LAN を簡単に設定する

らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX を使用して無線設定をする

らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX とは、本商品にある SET ボタン ⓈⒺⓉ の操作で、無線 LAN の接続設定（SSID・暗号化キーなどの設定）を簡単に行える機能です。（☛「つなぎかたガイド」）

無線 LAN 内蔵パソコン（※ 1）の場合は、らくらく無線スタート EX で設定が可能です。（☛「つなぎかたガイド」）

なお、本商品はらくらく無線スタートに対応した、Aterm シリーズの無線 LAN 端末（子機）（※ 2）や無線 LAN 内蔵パソコンからのらくらく無線スタートによる接続設定に対応しています。（設定方法は、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書を参照してください。）

※ 1：Windows Vista® または Windows® 7/XP（SP3）、Mac OS X v10.5/v10.6 の日本語版かつ Intel 製 CPU 搭載のパソコンに対応。かつ各 OS のワイヤレスネットワーク接続などで無線 LAN 設定ができる環境に限られます。

※ 2：WL300NC、WL130NC、WL300NC-G、WL300NU-GS、WL300NU-AG、WL300NU-G、WL54AG、WL54SC、WL54SC2、WL300NE-AG、WL54SU、WL54SU2、WL54TU で対応。対応 OS は各製品情報ページの仕様をご覧ください。

お知らせ

- らくらく無線スタート EX は、添付の CD-ROM に収録されています。
- らくらく無線スタートで接続できない場合があります。接続に失敗する場合には手動で無線設定し、接続してください。（☛P3-12）
- ESS-ID ステルス機能を設定すると、らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX で接続できない場合があります。その場合には、クイック設定 Web 画面の［無線 LAN 設定］で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を「使用しない」に設定してから、らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX を実施してください。接続完了後、「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を「使用する」に設定してください。（設定方法は、「無線 LAN 設定」－「無線 LAN 設定」－「無線 LAN 端末（子機）の接続制限」を参照してください。）

WPS 機能を使用して無線設定する

WM3600R は、WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応した無線 LAN の自動設定を行うことができます。
設定するには、無線 LAN 端末（子機）側も WPS に対応している必要があります。

※ WPS とは、Wi-Fi アライアンスが策定した無線 LAN の接続設定を簡単に行うための規格です。

設定には、以下の方法があります。
- **SET ボタン（SET）による設定（☛ 下記）**
- **PIN 方式による設定**
  → WM3600R の無線 LAN 設定を無線 LAN 端末（子機）に設定する（☛P3-8）

お知らせ

- 本商品の設定で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」が「使用する」になっていると、WPS 機能での設定に失敗します。本商品側の設定を確認してください。
- WPS 機能での設定中は他の無線接続はいったん切断されることがあります。
- 本商品は、工場出荷時の状態で自動 LED 消灯機能と省電力状態切り替え機能のウェイティングが設定されています。SET ボタン（SET）による設定を実行する際は、SET ボタン（SET）を押して LED を通常点灯させてから行ってください。

SET ボタン（SET）による設定

WM3600R の SET ボタン（SET）を押すことで、WPS 機能を起動させることができます。設定方法は下記のとおりです。

※設定の際は、本商品と無線 LAN 端末（子機）は近くに置いた状態で設定してください。（目安：1m 程度）

お知らせ

- 本商品の設定で「MAC アドレスフィルタリング」が「使用する」になっている場合、無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスが登録されていないと、無線 LAN 端末（子機）によっては WPS 機能で設定できません。本商品側の設定を確認してください。

1　無線 LAN 端末（子機）の WPS 機能を起動する

※起動方法は、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照してください。

2　SET ボタン（SET）を押してすぐ放す（LED が約 3 分間のみ通常点灯する）

※LED が通常点灯している場合は、この手順は不要です。

（次ページに続く）

3 **通常点灯したらすぐに SET ボタン を押し、前面の POWER ランプが緑点滅または緑橙点滅したら放す**

4 **本商品前面の POWER ランプが橙点灯することを確認する**

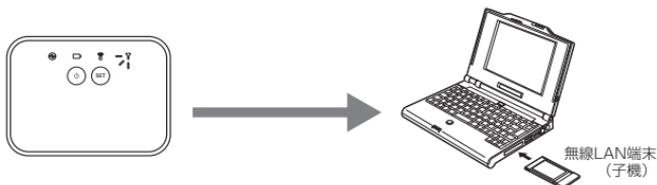
※ POWER ランプは約 10 秒間橙点灯したあと、緑点灯に戻ります。

失敗した場合は、POWER ランプが約 10 秒間赤点滅します。
再度手順 1 からやり直しても失敗する場合は、無線 LAN 端末（子機）の取扱説明書などを参照して、本商品のネットワーク名（SSID）と暗号化キーを設定してください。
※ ネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、本商品裏面のラベルを参照してください。

PIN 方式による設定

WM3600R の無線 LAN 設定を無線 LAN 端末（子機）に設定する

PIN 方式を使って、WM3600R の設定を無線 LAN 端末（子機）に設定します。

※ご利用になる無線 LAN 端末（子機）のドライバや設定ツールが必要な場合は、インストールを済ませておいてください。

お知らせ

- 本商品の設定で「MAC アドレスフィルタリング」が「使用する」になっている場合、無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスが登録されていないと、無線 LAN 端末（子機）によっては WPS 機能で設定できません。本商品側の設定を確認してください。

1 **無線 LAN 端末（子機）を接続したパソコンでクイック設定 Web を起動する場合は、いったん USB ケーブル（添付品）でパソコンと本商品を接続する**

※他のパソコンでクイック設定 Web を起動する場合は、手順 2 に進みます。

2 クイック設定 Web を起動する（☛P4-4）

3 「無線 LAN 設定」－「WPS 設定」を選択する

4 ［PIN 方式］の「使用する」にチェックする

5 ［無線 LAN 端末の PIN コード］に無線 LAN 端末（子機）の PIN コードを入力する

※無線 LAN 端末（子機）の PIN コードは、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照してください。

6 ［WPS（PIN 方式)］をクリックする

<画面は参考例です>

7 ［OK］をクリックする

※本商品の POWER ランプが緑橙点滅します。

8 無線 LAN 端末（子機）を接続したパソコンで上記の設定をした場合は、パソコンから USB ケーブル（添付品）を取り外して、10 秒待つ

※他のパソコンで設定した場合は、手順 9 に進みます。

9 無線 LAN 端末（子機）側で WPS 機能を起動する

※起動方法については、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照してください。

※無線設定が完了すると、本商品の POWER ランプが橙点灯（約 10 秒間）します。

3-4 無線 LAN で iPad/iPod touch/iPhone から接続する

本商品に無線 LAN で iPad/iPod touch/iPhone を接続することができます。
無線 LAN 設定ラベル＊に記載されている無線設定を iPad/iPod touch/iPhone 側に設定してください。
設定方法については、iPad/iPod touch/iPhone 側の取扱説明書などを参照してください。
※無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面に貼付しています。

無線LAN設定ラベル

工場出荷時の
ネットワーク名(SSID)と
暗号化キー

裏面ラベルの「ネットワーク名（SSID)」には、上段にプライマリ SSID、下段にセカンダリ SSID の無線設定内容（SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。
※暗号化キー初期値は、0 ～ 9、a ～ f を使用

1 本商品裏面に貼付のラベルに記載されているネットワーク名（SSID）と暗号化キーをあらかじめメモを取っておく

暗号化キーを変更されている場合は、変更後の暗号化キーになります。

2 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする

3 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする

4 「Wi-Fi」ボタンが「オフ」になっている場合は、ボタンをタップして「オン」にする

5 周囲の無線 LAN アクセスポイントの一覧が表示されるので、手順 1 で確認したネットワーク名（SSID）をタップする

6 「パスワード」に手順 1 で確認した暗号化キーを入力し、「Join」ボタンをタップする

本商品の暗号化キーの初期値は小文字です。数字を入力するときは、「.?123」ボタンをタップすると、数字のキーボードに切り替わります。

7 設定が完了し、画面上部のステータスバーに Wi-Fi アイコンが表示される

例

お知らせ

- 本商品の無線 LAN で ESS-ID ステルスを設定する場合は、手順 5 で「その他」をタップしてネットワーク名を直接入力し、「セキュリティ」をタップして暗号化方式を選択してから「その他」をタップし、手順 6 へ進みます。ワイヤレスネットワークの一覧から選択しいったん接続が完了してから本商品の ESS-ID ステルスを有効にすると、iPad/iPod touch/iPhone を次に起動した際に接続できなくなりますのでご注意ください。
- 本商品に MAC アドレスフィルタリングを設定しているときは、いったん解除してから接続してください。接続が完了したあとに、iPad/iPod touch/iPhone の MAC アドレスを登録して有効にしてください。
- 設定手順は、iPad/iPod touch/iPhone の OS バージョンにより変更される場合があります。

3-5 無線 LAN 内蔵のゲーム機から接続する

本商品に無線 LAN 内蔵のゲーム機を接続することができます。
* 無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面に貼付しています。

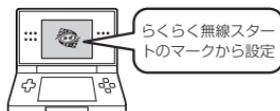
●らくらく無線スタートで設定

らくらく無線スタートに対応したゲーム機の場合は、らくらく無線スタートで簡単に無線 LAN 接続設定ができます。

<らくらく無線スタートで設定できるゲーム機の例>

・Wii
・ニンテンドー DS（ニンテンドー DS Lite 含む）
・ニンテンドー DSi（ニンテンドー DSi LL 含む）
・ニンテンドー 3DS
・「プレイステーション 3」
・PSP「プレイステーション・ポータブル」

※図は一例です。

設定方法はゲーム機の取扱説明書を参照してください。

●手動設定

らくらく無線スタートに対応していないゲーム機や、らくらく無線スタートで接続できない場合は、手動で設定してください。

本商品裏面の無線 LAN 設定ラベルに記載されている無線設定をゲーム機側に設定してください。

設定方法については、各ゲーム機に添付の取扱説明書を参照してください。

<無線接続できるゲーム機の例>

・Xbox360 など

ゲーム機の説明書にしたがって内蔵無線を有効にしたら、本商品のネットワーク名 (SSID) を選択して接続し、本商品の暗号化キーを入力してください。

※設定の際に画面に出てくる「ネットワークキー」、「パスフレーズ」、「パスワード」とは、暗号化キーのことです。

裏面ラベルの「ネットワーク名（SSID)」には、上段にプライマリ SSID、下段にセカンダリ SSID の無線設定内容（SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。
※暗号化キー初期値は、0 ～ 9、a ～ f を使用

お知らせ

●無線 LAN 端末（子機）の通信で、12、13ch を使用する場合は、オートチャネルセレクトは使用できません。

●12、13ch は無線 LAN 端末（子機）によっては使用できない、またはらくらく無線スタートの設定でプライマリ SSID に接続できない場合があります。
12、13ch を使用できない子機は 1 ～ 11ch を使用してください。また、らくらく無線スタートでプライマリ SSID に接続できないときは手動で設定してください。

●ニンテンドー DS（ニンテンドー DS Lite 含む）は、WEP にのみ対応していますので、ネットワーク名（SSID）はセカンダリ SSID※を選択してください。暗号化キーは、無線 LAN 設定ラベル * に記載されている暗号化キーを設定してください。
※セカンダリ SSID は、無線 LAN 設定ラベル * に記載されているネットワーク名（SSID）の末尾に「-gw」がついたものです。（暗号化方式は、128bitWEP です。）
なお、ニンテンドー DSi、ニンテンドー 3DS の場合は、AES、TKIP の暗号化方式で接続できる場合があります。詳しくはゲーム機の取扱説明書を参照してください。

3-6 Windows Vista® および Windows® 7/XP の「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する

無線 LAN 内蔵パソコンが Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワーク接続」で無線設定を行うことができます。

「ワイヤレスネットワーク接続」は、本商品の暗号化モード設定が「暗号化無効」または「WEP（64bit、128bit)」、「TKIP※」、「AES※」の場合に、ご利用いただけます。

※：TKIP、AES は、Windows Vista® または Windows® 7/XP（SP3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

無線 LAN 内蔵パソコンの取扱説明書にしたがって無線スイッチを入れ、次の手順で設定してください。

① **設定する**

「ワイヤレスネットワーク接続」の接続画面で本商品のネットワーク名（SSID）を選択して接続し、本商品の暗号化キーを入力してください。設定手順は下記を参照してください。

- **Windows® 7 の場合（☛P3-13）**
- **Windows Vista® の場合（☛P3-20）**
- **Windows® XP（SP3）の場合（☛P3-27）**

② **本商品との通信状態を確認する（☛P3-31）**

お知らせ

●設定の際に画面に出てくる「ネットワークキー」、「パスフレーズ」、「パスワード」とは、暗号化キーのことです。

Windows® 7 の場合

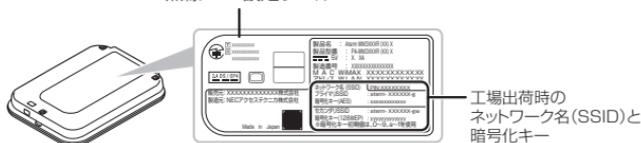
ご利用いただける暗号化モードは、WEP（64bit、128bit)、TKIP、AES です。
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックする

※［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

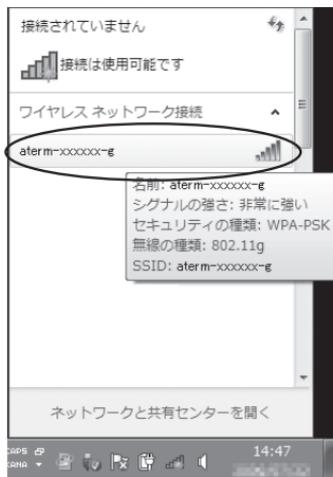
2 本商品のネットワーク名（SSID）にカーソルを合わせ、「セキュリティの種類」の表示を確認する

- セキュリティが設定されている場合（「WEP」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」など）
  →＜本商品に暗号化が設定されている場合＞（☛P3-14）へ
- 「セキュリティの設定が無効」と表示されている場合
  →＜本商品に暗号化が設定されていない場合＞（☛P3-15）へ

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、本商品裏面に記載されています。
→ WEP にのみ対応している無線 LAN 端末（子機）から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。（セカンダリ SSID は、本商品裏面のラベルに記載されています。）

裏面ラベルの「ネットワーク名（SSID)」には、上段にプライマリ SSID、下段にセカンダリ SSID の無線設定内容（SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。
※暗号化キー初期値は、0 ～ 9、a ～ f を使用

※本商品のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、［ネットワークと共有センターを開く］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックして「手動で設定する場合」（☛P3-16）の手順 2 へ進みます。

<本商品に暗号化が設定されている場合>

3 本商品のネットワーク名（SSID）をクリックする

4 ［接続］をクリックする

※接続に失敗した場合は、［閉じる］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

①［ネットワークと共有センターを開く］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする

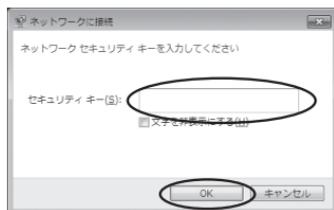
②接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする

③［はい］をクリックする

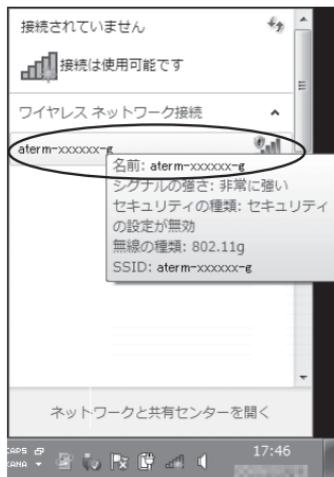
④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順1（☛P3-13）から接続し直してください。

5 ［セキュリティ キー］に暗号化キーを入力して、［OK］をクリックする

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(☛P3-13)
※本商品で暗号化モードをWEP、暗号化キー番号の2～4番を使用している場合は、［キャンセル］をクリックして、「手動で設定する場合」(☛P3-16)へ進みます。

本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☛P3-31)で確認してください。

＜本商品に暗号化が設定されていない場合＞

3 本商品のネットワーク名（SSID）をクリックする

（次ページに続く）

4 ［接続］をクリックする

本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」（☛P3-31）で確認してください。

●手動で設定する場合

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、［ネットワークと共有センターを開く］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする

※［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする方法もあります。

2 ［ワイヤレスネットワークに手動で接続します］を選択し、［次へ］をクリックする

3 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(☛P3-13)

〈本商品の暗号化モードが TKIP または AES の場合〉

①[ネットワーク名]で本商品のネットワーク名(SSID)を入力する
②[セキュリティの種類]で[WPA- パーソナル]または[WPA2- パーソナル]を選択する
③[暗号化の種類]で[TKIP]または[AES]を選択する
④[セキュリティ キー]に本商品の暗号化キーを入力する
※暗号化キーは半角で、8 ~ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。
※暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。
【8 ~ 63 桁の場合】英数記号(0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z、下記の記号)

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>＊</td><td>.</td><td><</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>]</td><td>{</td><td></td></tr>
</table>

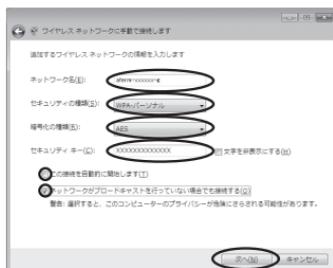
※「\」(バックスラッシュ)はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数(0 ~ 9、a ~ f、A ~ F)

⑤[この接続を自動的に開始します]のチェックを外す
⑥本商品で ESS-ID ステルス機能(SSID の隠蔽)を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]のチェックを入れる
⑦[次へ]をクリックする

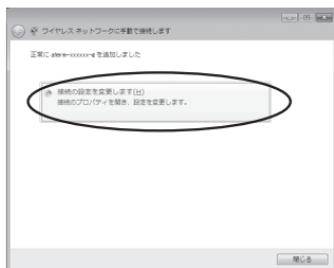
〈本商品の暗号化モードが WEP の場合〉

①[ネットワーク名]で本商品のネットワーク名(SSID)を入力する
②[セキュリティの種類]で[WEP]を選択する
③[セキュリティ キー]に本商品の暗号化キーを入力する
ASCII 文字 /16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
・ASCII 文字の場合:
英数字 5 文字:
本商品に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字:
本商品に 128bitWEP を設定している場合
・16 進数の場合:
0 ~ 9・a ~ f で 10 文字:
本商品に 64bitWEP を設定している場合
0 ~ 9・a ~ f で 26 文字:
本商品に 128bitWEP を設定している場合
④[この接続を自動的に開始します]のチェックを外す
⑤本商品で ESS-ID ステルス機能(SSID の隠蔽)を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]のチェックを入れる
⑥[次へ]をクリックする

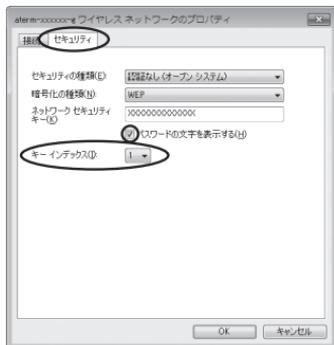
(次ページに続く)

4 ［接続の設定を変更します］をクリックする

上の画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

① ［ネットワークと共有センターを開く］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする
② 接続するネットワーク名（SSID）をクリックして右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする
③ ［はい］をクリックする
④ ［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P3-16の手順1から接続し直してください。

5 ［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する

※［パスワードの文字を表示する］にチェックを入れると、パスワードが確認できます。

※本商品の暗号化モードが WEP の場合は、［キーインデックス］で本商品に設定したキー番号を選択します。

※画面は、本商品の暗号化モードが WEP の場合の例です。

6 ［OK］をクリックする

7 ［閉じる］をクリックする

8 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックして、本商品のネットワーク名（SSID）を選択し、［接続］をクリックする

以上で本商品との無線設定は完了です。

本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」（☛P3-31）で確認してください。

Windows Vista® の場合

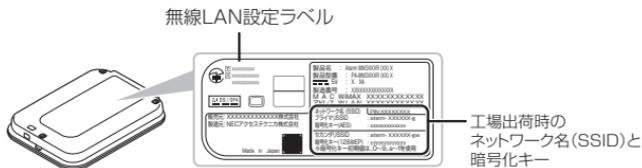
ご利用いただける暗号化モードは、WEP（64bit、128bit）、TKIP、AES です。
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）ー［ネットワーク］ー［ネットワークと共有センター］ー［ネットワークに接続］をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

2 本商品のネットワーク名（SSID）をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する

・「セキュリティの設定が有効なネットワーク」と表示されている場合
　→<u><本商品に暗号化が設定されている場合></u>（☛P3-21）へ
・「セキュリティの設定が有効でないネットワーク」と表示されている場合
　→<u><本商品に暗号化が設定されていない場合></u>（☛P3-23）へ

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、本商品裏面に記載されています。
　→ WEP にのみ対応している無線 LAN 端末（子機）から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。（セカンダリ SSID は、本商品裏面のラベルに記載されています。）

裏面ラベルの「ネットワーク名（SSID）」には、上段にプライマリ SSID、下段にセカンダリ SSID の無線設定内容（SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。
※暗号化キー初期値は、0 ～ 9、a ～ f を使用

※本商品のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、[接続またはネットワークをセットアップします]をクリックして「手動で設定する場合」(☛P3-24)の手順 2 へ進みます。

＜本商品に暗号化が設定されている場合＞

3 ［接続］をクリックする

※接続に失敗した場合は、［閉じる］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

①［ネットワークと共有センター］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする

②接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする

③［OK］をクリックする

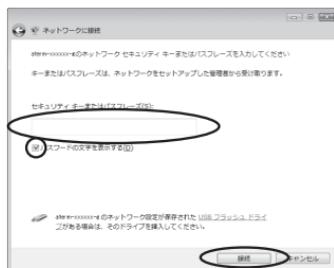
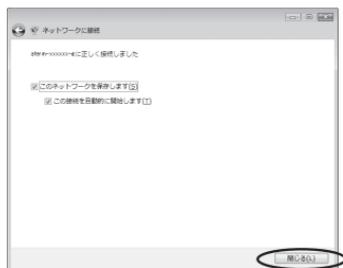
④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順1(☛P3-20)から接続し直してください。

4 ［セキュリティ キーまたはパスフレーズ］に暗号化キーを入力して、［接続］をクリックする

※「パスワードの文字を表示する」にチェックを入れると、入力文字が表示できます。

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(☛P3-20)

※本商品で暗号化モードをWEP、暗号化キー番号の2～4番を使用している場合は、［キャンセル］をクリックして、「手動で設定する場合」(☛P3-24)へ進みます。

「アクセスポイントの構成ボタンを押してください」と表示された場合は、画面内の「代わりに、ネットワークキーまたはパスフレーズを入力する必要があります」をクリックしてください。

（次ページに続く）

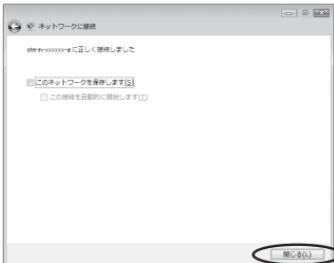
5 ［閉じる］をクリックする

本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☛P3-31)で確認してください。

＜本商品に暗号化が設定されていない場合＞

3　［接続］をクリックする

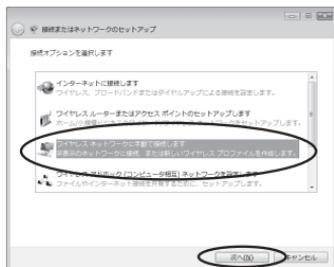
4　［接続します］をクリックする

5　［閉じる］をクリックする

本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☛P3-31)で確認してください。

●手動で設定する場合

1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）ー［ネットワーク］ー［ネットワークと共有センター］ー［接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして［ネットワークと共有センター］ー［接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする方法もあります。

2 ［ワイヤレスネットワークに手動で接続します］を選択し、［次へ］をクリックする

3 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。（☛P3-20）

〈本商品の暗号化モードが TKIP または AES の場合〉

①［ネットワーク名］で本商品のネットワーク名（SSID）を入力する
②［セキュリティの種類］で［WPA- パーソナル］または［WPA2- パーソナル］を選択する
③［暗号化の種類］で［TKIP］または［AES］を選択する
④［セキュリティ キーまたはパスフレーズ］に本商品の暗号化キーを入力する
　※［パスフレーズ文字を表示する］にチェックを入れると、入力文字が表示できます。
　※暗号化キーは半角で、8 ～ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。
　※暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。
　【8 ～ 63 桁の場合】英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>"</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>#</td><td>'</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>]</td><td>{</td><td></td></tr>
</table>

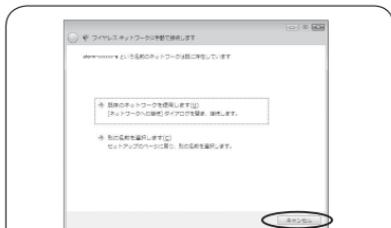
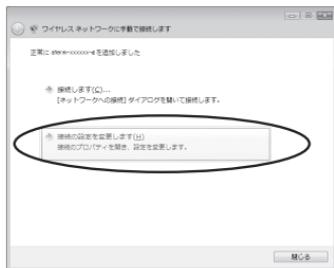
※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

　【64 桁の場合】16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）

⑤［この接続を自動的に開始します］のチェックを外す
⑥本商品で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる
⑦［次へ］をクリックする

〈本商品の暗号化モードが WEP の場合〉

①［ネットワーク名］で本商品のネットワーク名（SSID）を入力する
②［セキュリティの種類］で［WEP］を選択する
③［セキュリティ キーまたはパスフレーズ］に本商品の暗号化キーを入力する
ASCII 文字 /16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
・ ASCII 文字の場合：
英数字 5 文字：
本商品に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
本商品に 128bitWEP を設定している場合
・ 16 進数の場合：
0 ～ 9・a ～ f で 10 文字：
本商品に 64bitWEP を設定している場合
0 ～ 9・a ～ f で 26 文字：
本商品に 128bitWEP を設定している場合
④［この接続を自動的に開始します］のチェックを外す
⑤本商品で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる
⑥［次へ］をクリックする

4 ［接続の設定を変更します］をクリックする

上の画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。
①［ネットワークと共有センター］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする
②接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする
③［OK］をクリックする
④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる
上記の手順が完了したら、P3-24 の手順 1 から接続し直してください。

（次ページに続く）

5 ［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する

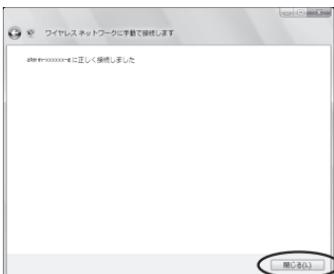
※本商品の暗号化モードが WEP の場合は、［キーインデックス］で本商品に設定したキー番号を選択します。

※画面は、本商品の暗号化モードが WEP の場合の例です。

6 ［OK］をクリックする

7 ［接続します］をクリックする

8 本商品のネットワーク名（SSID）を選択し、［接続］をクリックする

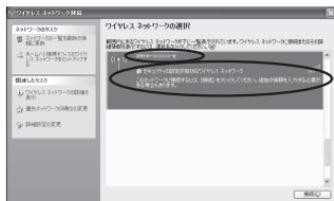
9 ［閉じる］をクリックする

以上で本商品との無線設定は完了です。

本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」（☛P3-31）で確認してください。

Windows® XP（SP3）の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP（64bit、128bit）、TKIP、AES です。
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

2 本商品のネットワーク名（SSID）をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する

- 「セキュリティの設定が有効なワイヤレスネットワーク」と表示されている場合
  →<本商品に暗号化が設定されている場合>（☛P3-28）へ
- 「セキュリティで保護されていないワイヤレスネットワーク」と表示されている場合
  →<本商品に暗号化が設定されていない場合>（☛P3-28）へ

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、本商品裏面に記載されています。
→WEP にのみ対応している無線 LAN 端末（子機）から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。（セカンダリ SSID は、本商品裏面のラベルに記載されています。）

裏面ラベルの「ネットワーク名（SSID)」には、上段にプライマリ SSID、下段にセカンダリ SSID の無線設定内容（SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。
※暗号化キー初期値は、0 〜 9、a 〜 f を使用

※本商品のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、[詳細設定の変更] をクリックして、「手動で設定する場合」の手順 3（☛P3-29）へ進みます。それでも接続できない場合には、本商品で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合があります。ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除してください。

（次ページに続く）

＜本商品に暗号化が設定されている場合＞

3 ［接続］をクリックする

4 ［ネットワークキー］に暗号化キーを入力して［接続］をクリックする

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(☛P3-27)

※本商品で暗号化モードをWEP、暗号化キー番号の2～4番を使用している場合は、［キャンセル］をクリックして、「手動で設定する場合」(☛P3-29)へ進みます。

5 パソコンの画面右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する

本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☛P3-31)で確認してください。

＜本商品に暗号化が設定されていない場合＞

3 ［接続］をクリックする

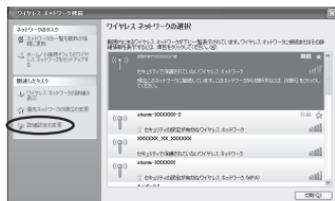
4 次の画面が表示された場合は、［接続］をクリックする

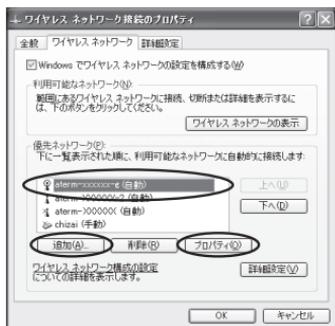
5 パソコンの画面右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する

本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☛P3-31)で確認してください。

●手動で設定する場合

1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする

2 ［詳細設定の変更］をクリックする

3 ［ワイヤレスネットワーク］タブをクリックし、本商品のネットワーク名（SSID）をクリックして、［プロパティ］をクリックする

※ネットワーク名（SSID）が表示されていない場合は、［追加］をクリックする

4 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。（☛P3-27）

〈本商品の暗号化モードが TKIP または AES の場合〉

①［ネットワーク認証］で［WPA-PSK］または［WPA2-PSK］を選択する

※［WPA2-PSK］は、［WPA2-PSK］に対応した無線 LAN 端末（子機）でのみ選択できます。

②［データの暗号化］で［TKIP］または［AES］を選択する

③［ネットワークキー］を入力し、同じものを［ネットワークキーの確認入力］に再入力する

暗号化キーは半角で、8 ～ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。

※画面は、本商品の暗号化モードが WEP の場合の例です。

（次ページに続く）

※暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。（半角で入力します。）

【8 ～ 63 桁の場合】英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>]</td><td>{</td><td></td></tr>
</table>

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）

④本商品で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、[このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する］のチェックを入れる

⑤[OK］をクリックする

〈本商品の暗号化モードが WEP の場合〉

①[ネットワーク認証］で［オープンシステム］を選択する

②[データの暗号化］で［WEP］を選択する

③[キーは自動的に提供される］のチェックを外す

④[ネットワークキー］を入力し、同じものを［ネットワークキーの確認入力］に再入力する

ASCII 文字 /16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ASCII 文字の場合：
英数字 5 文字：
本商品に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
本商品に 128bitWEP を設定している場合

・16 進数の場合：
0 ～ 9・a ～ f で 10 文字：
本商品に 64bitWEP を設定している場合
0 ～ 9・a ～ f で 26 文字：
本商品に 128bitWEP を設定している場合

⑤本商品の暗号化キー番号の設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する

⑥本商品で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、[このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する］のチェックを入れる

⑦[OK］をクリックする

5 ［OK］をクリックする

本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」（☛P3-31）で確認してください。

本商品との通信状態を確認するには

次の手順で通信状態を確認できます。

1　通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、［ネットワークと共通センターを開く］をクリックする

※Windows Vista® の場合は、［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［ネットワーク］－［ネットワークと共有センター］をクリックします。

※Windows® XP の場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックします。

2　［ワイヤレスネットワーク接続］をクリックする

※Windows Vista® の場合は、「状態の表示」をクリックします。

※Windows® XP の場合は、［状態］をクリックし、［全般］タブをクリックします。

3　無線設定が正しく行われていることを確認する

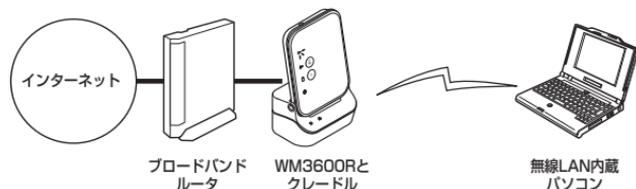
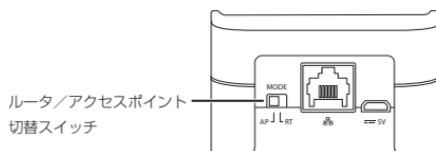
- ［状態］が「有効」になっていること（Windows® XP の場合は、［接続］になっていること）
- ［速度］が表示されていること（表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。）

※画面は Windows® 7 の場合の例です。

4　［閉じる］をクリックする

3-7 無線 LAN アクセスポイントモードに設定する

本商品をクレードル（オプション品）に接続したときに、WiMAX 通信／ルータ機能を停止することで無線 LAN アクセスポイントとしてご利用できます。
クレードルのルータ／アクセスポイント切替スイッチを使って設定します。

※本機能をご利用の際は、クレードルをご用意ください。

1 クレードルのルータ／アクセスポイント切替スイッチをアクセスポイント側（AP）に切り替える

2 本商品の電源が入っていることを確認し、クレードルにセットする

奥まで確実に押し込んでください。

3 再起動（約 1 分）し、アクセスポイントモードに切り替わります

※アクセスポイント側でクレードルの着脱を行うと再起動（約 1 分）します。

! 無線 LAN アクセスポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意

- 無線 LAN アクセスポイントモードで、らくらく無線スタートを行う場合は、必ず本商品をブロードバンドモデムなど DHCP サーバ機能を持った機器に接続した状態で行ってください。
- 設定を変更する場合には、ルータモードで行ってください。

お知らせ

- ブロードバンドモデムをパソコンや他のブロードバンドルータに接続していた場合は、ブロードバンドモデムの電源をいったん切ってください。なお 20 分～ 24 時間待って電源を入れないと、正常に動作しない場合があります。

4 クイック設定Webの使いかた

4-1　クイック設定Webの使いかた …………………… 4-2

4-1 クイック設定 Web の使いかた

クイック設定 Web は、本商品の基本的な設定や詳細な設定を行いたいときに利用します。WWW ブラウザの画面で設定します。
設定方法などの詳細は、別紙に記載のホームページに掲載されている「Ⓦ機能詳細ガイド」の「クイック設定 Web の使い方」を参照してください。

お知らせ

- クイック設定 Web が利用できる WWW ブラウザについては、「動作確認済みの WWW ブラウザ」(☛P4-3) を参照してください。
- 説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。
- クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。
- クイック設定 Web 画面を起動するとき、URL の指定が「http://aterm.me」の場合、クイック設定 Web が表示されないことがあります。
  そのときは、URL を IP アドレス指定 (工場出荷時は「http://192.168.0.1」) に変更しアクセスしてください。

お願い

- クイック設定 Web の設定は、[設定] をクリックしたあと [保存] をクリックしてからでないと保存されません。
- 無線 LAN 接続でクイック設定 Web を表示させる場合は、プライマリ SSID に接続してください。

クイック設定 Web をご使用になる前に

クイック設定 Web をご使用になる前に、以下を確認してください。

● WM3600R とパソコンとの無線接続

→「つなぎかたガイド」を参照して無線接続を完了させておいてください。
→ IP アドレスが正しく取得できているか確認してください。

＜ IP アドレスの確認方法＞

■ Windows® 7/Windows Vista® の場合

① [スタート] (Windows® のロゴボタン) ー [すべてのプログラム] ー [アクセサリ] ー [コマンドプロンプト] をクリックする
② 「ipconfig」と入力して [Enter] キーを押す
③ IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)

■ Windows® XP の場合

① [スタート] ー [すべてのプログラム] (または [プログラム]) ー [アクセサリ] ー [コマンドプロンプト] をクリックする
② 「ipconfig」と入力して [Enter] キーを押す
③ IP アドレス (IP Address) が「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)

■ Mac OS X の場合

以下は Mac OS X v10.6 Snow Leopard の場合の例です。

① アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する

② ［ネットワーク］画面で［AirMac］を選択し、［詳細］をクリックする

③ ［TCP/IP］タブをクリックする

④ IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）

■ iOS の場合

以下は iOS 4.2 の場合の例です。

① 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする

② 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする

③ 「ワイヤレスネットワークを選択 ...」から、チェックが入っている接続中のネットワーク名（SSID）の右側にある［>］ボタンをタップする

④ IP アドレス」が「192.168.0.XXX」（または「192.168.1.XXX」）になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）

● JavaScript の設定

→ P1-17 を参照して、JavaScript の設定を有効に設定してください。

●動作確認済みの WWW ブラウザ

■ Windows® 7 の場合
Internet Explorer 8.0/9.0 に対応
Firefox 3.6 に対応
Google Chrome 11 に対応

■ Windows Vista® の場合
Internet Explorer 7.0/8.0/9.0 に対応
Firefox 3.6 に対応
Google Chrome 11 に対応

■ Windows® XP（SP3）の場合
Internet Explorer 7.0/8.0 に対応
Firefox 3.6 に対応
Google Chrome 11 に対応
Opera 10.0 に対応

■ Mac OS X v10.5/v10.6/v10.7 の場合
Safari 4.0/5.0 に対応
Firefox 3.6 に対応
Opera 10.0 に対応

■ iOS 4.2 の場合
Safari 5.0 に対応

〈画面例〉

※ iOS で設定する場合は、本商品に無線 LAN 接続したあとに行ってください。

※ 下記内容は設定できません。（2011 年 12 月現在）

・［設定値の保存＆復元］画面の「設定値の保存」、「設定値の復元」

・［ファームウェア更新］画面の「更新方法：ローカルファイル指定」

・［通信情報ログ］画面の［ファイルへ保存］

クイック設定 Web の起動のしかた

クイック設定 Web で設定を行う場合は、次の手順で起動します。

※ 事前に、本商品とパソコンの無線接続が完了していることを確認してください。
※ 本商品以外の無線 LAN アクセスポイント（親機）で、無線 LAN によるインターネット接続をしている場合、本商品からのインターネット接続が確認できるまで本商品以外の無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切っておいてください。
※ クイック設定 Web ページを開く場合はルータモードで開いてください。本商品がクレードル（オプション品）に接続されて、無線 LAN アクセスポイントモードに設定されているときは、クレードルのルータ／アクセスポイント切替スイッチを RT 側にして、ルータモードにしてから行ってください。

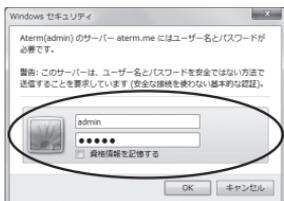
① パソコンなどを起動する
② WWW ブラウザを起動し、「http://aterm.me/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く

※本商品の IP アドレスを入力して開くこともできます。「http://aterm.me/」で開けない場合は、IP アドレスを入力してください。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）例：http://192.168.0.1/

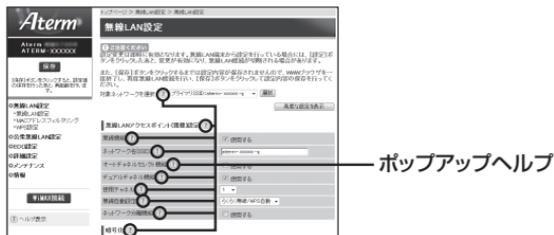
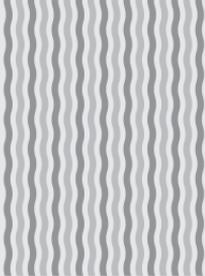
③ 次の画面が表示された場合は、画面にしたがって管理者パスワード（任意の文字列）を決めて、下の控え欄に記入する
※この画面は、管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。

●管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本商品を初期化してすべての設定がやり直しになります。

管理者パスワード控え欄	

④ ③で控えた管理者パスワードを画面に入力し、［設定］をクリックする
⑤ ユーザ名とパスワードを入力する
※「ユーザー名」（上段）には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」（下段）には③で控えた管理者パスワードを入力してください。

⑥［OK］をクリックする
⑦ クイック設定 Web が表示される

ポップアップヘルプについて

クイック設定 Web を開くと、各項目に ? のポップアップヘルプがあります。
このボタンをクリックすると、各設定項目の内容や、入力条件（文字数など）が表示されます。

5 契約をする

5-1　WiMAX 回線契約をする……………………………5-2

5-1 WiMAX 回線契約をする

本商品を WiMAX 接続する場合、WiMAX 通信サービス事業者とのサービス加入契約が必要です。お求めの際、事前にご契約された場合でも、登録作業が必要な場合があります。詳しくは、ご契約のサービス事業者にお問い合わせください。
本商品の接続方法については、「つなぎかたガイド」の STEP2「本商品を接続しよう」を参照してください。
なお、Windows Vista® および Windows® 7/XP の無線 LAN 内蔵パソコンから「ワイヤレスネットワーク接続」で接続する場合は、P3-12 を参照してください。

お願い

- サインアップが完了するまで、本商品の電源 OFF やブラウザを閉じないでください。サインアップの失敗などでブラウザを閉じた場合は、はじめからやり直してください。
- 本商品以外の無線 LAN アクセスポイント（親機）で、無線 LAN によるインターネット接続をしている場合、本商品からのインターネット接続が確認できるまで、本商品以外の無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切っておいてください。

サインアップする

本商品を起動し、インターネットに接続したとき下記の画面が表示される場合があります。ポータルサイト画面が表示された場合、サービス加入契約が完了していませんので、画面の案内にしたがってサービス加入契約を完了させてください。
※ サインアップ中は本商品の WiMAX ランプが緑（1 秒）、橙（1 秒）の交互点滅をしています。

申し込み終了の画面が表示された場合、そのまましばらくお待ちください。情報の書き込みをして、再起動します。

＜ポータルサイト画面＞

＜申し込み終了画面＞

（画面デザインおよび内容は変更になる場合があります。）

!

サービス加入契約完了後、本商品が情報の書き込みを行っている場合があります。
書き込み中は WiMAX ランプが消灯し、完了すると再起動します。
POWER ランプが緑点灯し、各ランプが順次点灯するまで本商品の電源は絶対に切らないでください。

6 便利な機能

6-1　公衆無線 LAN サービス……………………………6-2

6-2　スマートフォンアプリで情報を見る …………6-5

6-3　その他の便利な機能 …………………………………6-7

6-1 公衆無線 LAN サービス

本商品は、公衆無線 LAN サービスに対応しています。
公衆無線 LAN サービスエリアの中にいる場合、WiMAX 網を経由しないでインターネットに接続することができます。
※ WiMAX 回線契約と別途公衆無線 LAN サービスの契約が必要です。

契約後にクイック設定 Web 画面の「公衆無線 LAN 設定」の「基本設定」で設定します。WiMAX と公衆無線 LAN の接続を電波状態などにより切り替えて使用します。（初期値は、公衆無線 LAN 機能を「使用しない」です。）

［用語］公衆無線 LAN サービス：無線 LAN 機能を持つパソコンや携帯情報端末を使ってカフェやホテル、街角などからインターネットに接続できるサービス。

お願い

- お客様が意図しない課金が発生する可能性がありますのでご注意ください。
  本商品の電源を ON にしている場合、公衆無線 LAN サービスの提供エリアに入ると、お客様が設定した公衆無線 LAN アクセスポイントに自動的に接続 (ログイン) することがあります。そのため、公衆無線 LAN サービスのご契約内容によっては、通信時間、接続回数などに応じた課金（従量課金制）がされる場合があります。完全定額制のサービスのご利用をお勧めします。

接続先設定方法

クイック設定 Web 画面の「公衆無線 LAN 設定」－「接続先設定」で設定します。選択できるアクセスポイントは 8 件です。（内 2 件は手動設定）

＜公衆無線 LAN アクセスポイント選択から設定する場合＞

1 **［接続先登録］ボタンをクリックし、公衆無線 LAN アクセスポイントの選択画面を表示する**

2 **ご契約のプロバイダが対応しているアクセスポイントにチェックを入れる**

※接続先登録画面にあるアクセスポイントを 8 個まで接続先リストに登録できます。「登録する」にチェックされているものは登録済みです。チェックを外した場合、接続先リストから外れます。
なお、登録済みアクセスポイントを重複して登録することはできません。

3 **ユーザ情報の一括設定で、プロバイダから通知されたログイン ID とパスワードを入力する**

※ログイン ID は契約プロバイダから通知されたものを入力してください。

4 **［設定］ボタンをクリック**

接続先リストに選択した公衆無線 LAN アクセスポイントが表示されます。

＜手動で新設アクセスポイントを設定する場合＞

公衆無線 LAN アクセスポイントの一覧にないアクセスポイントで無線 LAN 接続したいときは個別設定で設定します。

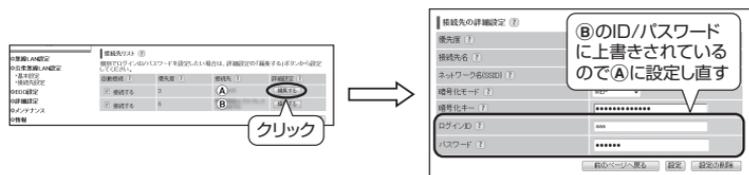
1　接続先登録画面で編集したい「個別設定 1」～「個別設定 2」の［アクセスポイント設定］ボタンをクリック

2　接続先の詳細設定画面が表示される

3　必要な情報を入力し、設定ボタンをクリック

設定を保存すると再起動し、公衆無線 LAN アクセスポイント選択画面に表示されます。

ユーザ情報の一括設定以外でアクセスポイントを登録する場合のご注意

- 複数プロバイダのアクセスポイントを登録する場合は、ユーザ情報を個別で設定し直す必要があります。
  ユーザ情報は一括設定のため、先に登録した情報は、後から登録したプロバイダのアクセスポイントとユーザ情報に上書きされます。
  接続先リストが表示されたら､先に登録したアクセスポイントの [編集する] をクリックします。
  詳細設定画面が表示されるので、ログイン ID とパスワードを設定し直します。
  (機能詳細ガイド)
  例：先に登録したアクセスポイントのプロバイダを Ⓐ、後から登録したアクセスポイントのプロバイダを Ⓑ

お知らせ

●公衆無線 LAN サービスによっては SSID が複数ある場合や SSID が変更になる場合があります。
そのときは、あらかじめ設定されている SSID と暗号化キーを、接続先リストの詳細設定から手動で変更してください。
●公衆無線 LAN 側の IP アドレス体系と LAN 側の IP アドレスが重複した場合、接続できないことがあります。接続するには、LAN 側の IP アドレス体系を変更する必要があります。IP アドレスの再取得を行ってください。(☛P9-10)
●公衆無線 LAN サービスのご契約内容によっては、同じ SSID でも接続（ログイン）できない場合があります。
ご契約内容と対応エリアをご確認ください。
●本商品が公衆無線 LAN 接続中に、無通信状態が続くなどして接続が切れてしまう場合があります。
再接続するには、公衆無線 LAN サービスのログイン画面から手動でログインしてください。
ログイン方法は、各公衆無線 LAN サービスのログイン手順にしたがってください。
●個別設定で設定したアクセスポイントは、エリア内で公衆無線 LAN をご利用する場合、ログイン画面が表示されます。各公衆無線 LAN サービスのログイン手順にしたがってログインしてください。
●公衆無線 LAN 接続処理中に、無線 LAN 端末（子機）に公衆無線 LAN サービスのログイン画面が表示される場合があります。
●無線 LAN 端末（子機）や公衆無線 LAN サービスの通信で、12、13ch を使用する場合は、オートチャネルセレクトは使用できません。
なお、無線 LAN 端末（子機）と公衆無線 LAN サービスでは同じチャネルを使用しています。

6-2 スマートフォンアプリで情報を見る

本商品の、情報をスマートフォンなどのアプリで確認することができます。
ファームウェアの更新や休止状態への移行、インターネットの接続先切り替えなどを画面操作で行うこともできます。

情報表示

情報は、一定間隔で表示されます。手動で取得する場合は、「Aterm WiMAX」アプリをタップしてください。

- 電池残量(1%単位で表示。充電中は充電中の表示)
- WiMAX アンテナレベル(アンテナバーで6段階表示)
- 更新通知
- WiMAX/WLAN（Wi-Fi）接続先の切り替え

以下は、メンテナンスをタップすると表示されます。

- WiMAX ／公衆無線 LAN 接続の WAN 側 IP 情報
- ファームウェアバージョン
- 休止状態
- 再起動

＜画面例＞

＜ファームウェアの更新＞

新しいファームウェアが存在している場合、アプリを起動すると、「新しいファームウェアがあります。クイック設定 Web を表示しますか？」と表示されるので、メッセージを確認し、[はい］をクリックします。
クイック設定 Web 画面が表示されるので、メニュー画面の［ファームウェア更新］ボタンをタップし、ファームウェアの更新を完了してください。

※ あらかじめクイック設定 Web の管理者パスワード設定を行っておいてください。パスワードが設定されていないとアプリ起動時にエラーとなってしまいます。

＜画面例＞

＜インターネット接続先切り替え＞

WiMAX と公衆無線 LAN の接続を切り替える場合、一度切断してから切り替えます。

接続されている側のボタン（WiMAX または WLAN（Wi-Fi））をタップすることで切断できます。

WAN 側が未接続になり、接続可能な接続先をサーチし、接続します。

※ WiMAX と公衆無線 LAN の接続を切り替える場合、それぞれ別途回線契約が必要です。
※ スマートフォンアプリから接続先の切り替えを行った場合、クイック設定 Web 側で設定してある優先接続先が変更されます。

お知らせ

- 本商品以外の機器に接続していて、本商品との通信に失敗、もしくは、本商品側が処理中で情報の取得ができなかった場合は、エラーが表示されるので、再読み込みをタップして情報を取得してください。

6-3 その他の便利な機能

VPN パススルー機能

VPN クライアントのソフトウェアを使って会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN（Virtual Private Network：仮想閉域網）に PPTP/IPsec で接続できます。
本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「機能詳細ガイド」を参照してください。

IP パケットフィルタリング

宛先／送信元 IP アドレスやポート番号、パケットの方向などを指定して、パケットの通過を制限する機能です。
不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。
（☛ 機能詳細ガイド）

ポートマッピング

あらかじめ固定的に使用するポート番号と転送先パソコンを指定することで、ネットワーク対応ゲームやストリーミングなどの外部から直接アクセスが必要なアプリケーションの通信が使用できます。
（☛ 機能詳細ガイド）

UPnP 機能

本商品とパソコンの UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）機能を利用して、TV 電話をするなど、パソコンの Windows Live Messenger、Windows Messenger の機能をご利用になることができます。
本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「機能詳細ガイド」を参照してください。
ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPnP の設定をすることで、利用ができます。

お知らせ

●UPnP 機能は、Windows Vista®、Windows® 7/XP のパソコンでのみご利用になれます。

7 セキュリティ対策をする

7-1　セキュリティ対策をする……………………………7-2

7-1 セキュリティ対策をする

セキュリティ機能について

本商品には、ブロードバンド（WiMAX 網）からの不正なアクセスを防ぐ「WAN 回線側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「無線 LAN 内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

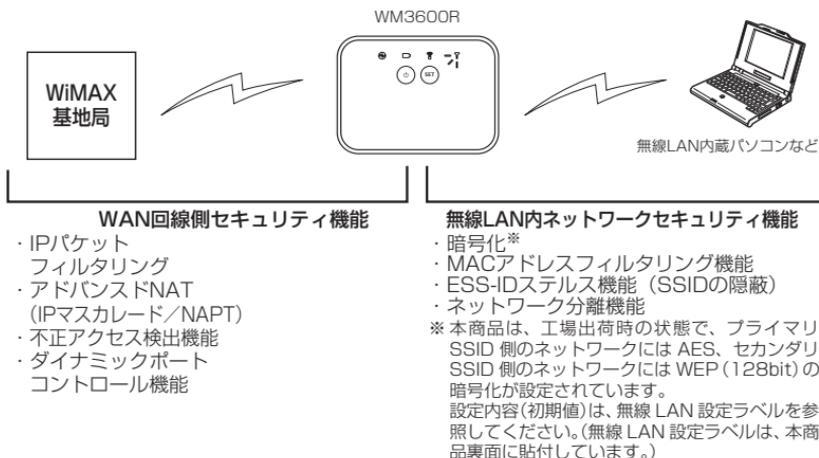
セキュリティ対策の詳細については、「Ⓦ機能詳細ガイド」を参照してください。

WAN回線側セキュリティ機能

・IPパケット
　フィルタリング
・アドバンスドNAT
　（IPマスカレード／NAPT）
・不正アクセス検出機能
・ダイナミックポート
　コントロール機能

無線LAN内ネットワークセキュリティ機能

・暗号化※
・MACアドレスフィルタリング機能
・ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）
・ネットワーク分離機能

※ 本商品は、工場出荷時の状態で、プライマリ SSID 側のネットワークには AES、セカンダリ SSID 側のネットワークには WEP（128bit）の暗号化が設定されています。
設定内容（初期値）は、無線 LAN 設定ラベルを参照してください。（無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面に貼付しています。）

? セキュリティ対策を行うことの重要性について

● インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。
特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。
本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。
また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをお勧めします。

● 無線 LAN 端末（子機）による無線通信を行う場合は、無線 LAN 内のセキュリティを行うことをお勧めします。無線 LAN 内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。
無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われることがあります。

8 バージョンアップをする

8-1　ファームウェアをバージョンアップする…8-2

8-1 ファームウェアをバージョンアップする

ファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、本商品に新しい機能を追加したり、場合によっては操作を改善します。
［用語］ファームウェア：本商品を動かすために組み込まれているソフトウェアのことです。

ファームウェアのバージョンアップの際は、充電池の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。バッテリーランプが、緑点滅をしているとき（電池残量約 10% 未満）は、バージョンアップをすることはできません。電池残量が少ない場合には、AC アダプタを接続してください。

お願い

- ファームウェアのバージョンアップ中は絶対に本商品の電源を切らないでください。
- お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
- バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、通知領域（タスクトレイ）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。
- 本商品は、工場出荷時の状態で自動 LED 消灯機能と省電力状態切り替え機能のウェイティングが設定されています。SET ボタン(SET)による設定を実行する際は、SET ボタン(SET)を押して LED を通常点灯させてから行ってください。

ファームウェアをバージョンアップする

SET ボタン(SET)によるバージョンアップ

本商品の POWER ランプが緑橙点滅（緑 3 秒、橙 0.5 秒間隔）した場合は、新しいファームウェアが存在しています。その場合、本商品の SET ボタン(SET)を使用してファームウェアの更新を行うことができます。

バージョンアップの際は、細い棒状のもの（つまようじなどの電気を通さない材質のもの）をご用意ください。RESET スイッチを押すときに使用します。

※ 本機能は、WiMAX 通信サービスエリア内で電波が届いていることを確認してから行ってください。

※ 本機能は、「ファームウェア更新通知機能」の設定が「使用する」（初期値）に設定されている必要があります。（工場出荷時の状態では「使用する」に設定済みです。）
なお「ファームウェア更新通知機能」の設定は、クイック設定 Web の［詳細設定］－［その他の設定］－［補助設定］で行います。詳しくは、「(WWW)機能詳細ガイド」を参照してください。

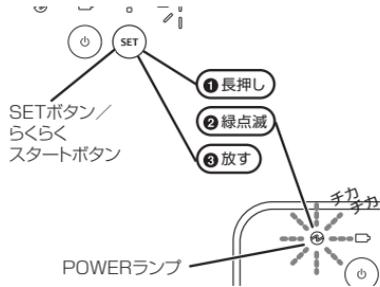
ファームウェアのバージョンアップの際は、充電池の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。バッテリーランプが、緑点滅をしているとき（電池残量約 10% 未満）は、バージョンアップをすることはできません。電池残量が少ない場合には、AC アダプタを接続してください。

1 SET ボタン(SET)を押してすぐ放す

LED が通常点灯している場合は、この手順は不要です。

2 通常点灯したらすぐに SET ボタン (SET) を長押しし（約 6 秒）、POWER ランプが緑点滅になったら放す

設定中は、他の無線接続はいったん切断されます。

SETボタン／
らくらく
スタートボタン
❶長押し
❷緑点滅
❸放す
チカチカ
POWERランプ

3 POWER ランプが緑点滅になってから 1 分以内に、細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で RESET スイッチを押し（約 1 秒）、放す（POWER ランプが橙点灯する）

ファームウェアがバージョンアップしている間は、POWER ランプが橙点灯します。緑点灯に変わったら、バージョンアップ完了です。

ファームウェアのワンタッチバージョンアップ

インターネットに接続された状態で、ホームページに新しいファームウェアが更新された場合に、クイック設定 Web のメニュー画面に［ファームウェア更新］のボタンが表示されます。

このボタンをクリックすることで、簡単にバージョンアップができます。

ファームウェアのバージョンアップの際は、充電池の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。バッテリーランプが、緑点滅をしているとき（電池残量約 10% 未満）は、バージョンアップをすることはできません。電池残量が少ない場合には、AC アダプタを接続してください。

※ 本機能は、インターネットに接続されている必要があります。
　また、サーバ側の負荷分散のために更新情報の検出が数週間遅れる場合があります。
本サービスは、予告なく変更あるいは終了する場合があります。
詳しくは、別紙に記載のホームページをご覧ください。

●ファームウェアのバージョンアップ情報がある場合は、インターネット上のホームページを開く際に、バージョンアップ情報が自動的に告知されますので、画面の指示にしたがって、本商品のバージョンアップを行うことができます。（ただし、自動告知画面が表示されるのは、開こうとするホームページの URL がホスト名の場合のみです。）
表示される例：http://www.nec.co.jp/
表示されない例：http://www.nec.co.jp/xxx_xxx

自動更新（オンラインバージョンアップ）

クイック設定 Web からファームウェアのバージョンアップを行うことができます。本商品からインターネットに接続できている必要があります。

ファームウェアのバージョンアップの際は、充電池の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。バッテリーランプが、緑点滅をしているとき（電池残量約 10% 未満）は、バージョンアップをすることはできません。電池残量が少ない場合には、AC アダプタを接続してください。

1　WWW ブラウザを起動し、「http://aterm.me/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

IP アドレスを入力しても開きます。「http://aterm.me/」で開けない場合は、IP アドレスを入力してください。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/

2　ユーザ名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

3　「メンテナンス」の［ファームウェア更新］を選択する

4　［自動更新（オンラインバージョンアップ)］を選択する

5　［更新］をクリックする

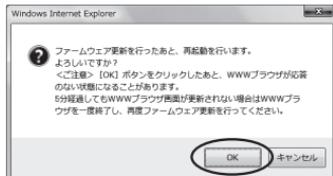
（次ページに続く）

6 次の画面が表示されるので、そのまましばらく待つ

本商品の電源は、絶対に切らないでください。

7 次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、[最新バージョンへ更新］をクリックする

「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。［閉じる］をクリックして、クイック設定 Web を閉じます。

8 ［OK］をクリックする

9 しばらくすると、クイック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。5 分ほどお待ちください」と表示される

本商品の電源は、絶対に切らないでください。

10 ［OK］をクリックする

ファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする

ホームページから、ファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行うことができます。

自動更新（オンラインバージョンアップ）にて、バージョンアップすることをお勧めします。（☛P8-5）

ダウンロードしたファームウェアでのバージョンアップ方法は「機能詳細ガイド」を参照してください。

ファームウェアのバージョンアップの際は、充電池の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。バッテリーランプが、緑点滅をしているとき（電池残量約 10% 未満）は、バージョンアップをすることはできません。電池残量が少ない場合には、AC アダプタを接続してください。

1. **最新のファームウェアをホームページからダウンロードする**
   ※ファームウェアをダウンロードした後、解凍してご利用ください。
   ※ホームページについては、本商品に添付の「お問い合わせ・アフターサービス」を参照してください。
2. **「更新方法」で「ローカルファイル指定」を選択する**
3. **［参照］をクリックする**
4. **ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する**
5. **［更新］をクリックする**
6. **［OK］をクリックする**

9 お困りのときには

9-1　トラブルシューティング……………………………9-2

9-2　初期化する………………………………………………9-13

9-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。
本書の他に、ホームページに掲載している電子マニュアル「機能詳細ガイド」（☛P2）の「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しています。本章と合わせてご覧ください。
該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し（☛P9-13）、はじめから設定し直してみてください。初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。（機能詳細ガイド）

・WiMAX に関するトラブル（☛P9-3）
・公衆無線 LAN サービスに関するトラブル（☛P9-12）
・クレードル（オプション品）に関するトラブル（☛P9-12）
・添付の CD-ROM に関するトラブル（☛P9-12）

WiMAX に関するトラブル

症　状	原因と対策
WiMAX ポータルサイトが表示される	●WiMAX サービス加入契約が完了していません。画面の案内にしたがってサービス加入契約を完了させてください。なお、事前にご契約されているにもかかわらず、WiMAX ポータルサイト画面が表示されるときは、ご契約したサービス事業者にお問い合わせください。
WiMAX ポータルサイトの画面を途中で終了させてしまった	●契約情報の入力が途中の場合は、いったんネットワークを切断後、再接続してください。再度WiMAXポータルサイトが表示されます。 →契約情報を設定済みの場合は、そのまま処理が完了するまでお待ちください。
ネットワークに接続できない	●他のネットワークデバイスで通信していると、WiMAX による通信が行えないことがあります。 →WiMAX 以外の通信は切断してください。
WiMAX ランプが赤点灯している	●ネットワーク接続に失敗しました。 →表示される電波状態を確認して、電波状態の良い場所に移動してください。
WiMAX ランプが赤点滅している	●契約情報の書き込みに失敗しました。 →電源を入れなおしてください。 POWER ランプが赤点灯するまで、電源ボタン⏻を押し、赤点灯したら放すと電源 OFF します。
WiMAX ランプが消灯または赤点灯している	●SET ボタン(SET)を押してみてください(1 秒以内)。WiMAX のネットワークに再接続します。接続処理中は WiMAX ランプが緑点滅し、接続されると緑点灯します。 ●サービスエリア外または電波が弱い可能性があります。 アンテナランプで表示される WiMAX 電界強度表示を確認して、電波状態の良い場所に移動してください。 ●いったんUSBで接続して(☛P3-2)、WiMAXのネットワークに接続できることを確認してください。接続が確認できたら、再度無線接続してください。
WiMAX ランプが赤点灯、アンテナランプが 2 本点灯している	●電源を入れ直してください。 POWER ランプが赤点灯するまで電源ボタン⏻を長押しして、電源をOFF してから電源ボタン⏻を放し、10 秒ほど待ってから、再度、POWER ランプが緑点滅するまで電源ボタン⏻を押して電源を ON してください。

● 充電池に関するトラブル

症　状	原因と対策
バッテリーランプが速い緑点滅している	●充電池の電池残量が不足しています。AC アダプタを使用して充電してください。(☛P2-3)
充電池での動作が短い(寿命について)	●満充電されている場合は、新品の場合、最大 10 時間の利用ができます。満充電時でも、約 3 時間程度の場合は、充電池の寿命が考えられますので、充電池のお取り替えをお勧めします。時間が短い場合でも、利用上に支障はありません。
充電池での動作時間が短い	●満充電したい場合、ロングライフ充電を設定しているときは、設定を「使用しない」にして充電してください。 ●充電池の駆動時間は、温度の低い環境下では一時的に悪くなります。

● POWER ランプが消灯している

症　状	原因と対策
POWER ランプが消灯している POWER ランプ	●電源が入っていません。 ●電池の残量がありません。 電源ボタン⏻を押しても POWER ランプが点灯しない場合は、電池残量がないことが考えられます。AC アダプタに接続して30 分以上充電してから電源を入れ直してください。
POWER ランプが消灯して、動作が停止する	●下記のような使用状況により、本体が高温になった場合は、自動的に動作を停止します。 ・ 直射日光に当たるところで使用した場合 ・ 高温下で充電しながら使用した場合 ・ かばんなどに入れて密封して使用した場合 その場合、本体温度が下がってから電源を入れてください。 ●充電池の電池残量がありません。AC アダプタを使用して充電してください。
電源を ON にしても POWER ランプが緑点滅しない	●電源ボタン⏻、SET ボタン(SET)と RESET スイッチを同時に約 1 秒押してください。電源が OFF の状態になります。 10 秒ほど待ってから、再度、POWER ランプが緑点滅するまで電源ボタン⏻を押して電源を ON してください。

※ 自動 LED 消灯またはウェイティングを使用中は、すべての LED が消灯しているように見えますが、POWERランプのみが約５秒間隔の遅い点滅をしています。(☛P2-6)

● 無線 LAN 通信ができない

症　状	原因と対策
WM3600R に接続できない	●暗号化キーの設定が WM3600R と無線 LAN 端末（子機）とで一致しているかを確認してください。（機能詳細ガイド） ●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。 →ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている場合があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 ①ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートをあける （アドレス：192.168.0. ＊、TCP ポート番号：23/53/75/80、UDP ポート番号：69/161） ②①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする ●「らくらく無線スタートEXに関するトラブル」（☛P9-8）も参照してください。
WM3600R と無線 LAN 端末（子機）間の電波状態が悪い	●電波の届く範囲まで無線 LAN 端末（子機）を移動したり、WM3600R や無線 LAN 端末（子機）の向きを変えたりして電波状態を確認してください。
セカンダリ SSID が見つからない	●IEEE802.11b に対応している無線 LAN 端末（子機）によっては、セカンダリ SSID をサーチできない場合があります。この場合、SSID を直接設定することにより、接続可能となります。 例）初期値の場合 プライマリ SSID：aterm-xxxxxx-g （無線 LAN 設定ラベル※に記載のネットワーク名（SSID）） セカンダリ SSID：aterm-xxxxxx-gw （無線 LAN 設定ラベル※に記載のネットワーク名（SSID）の末尾に「-gw」がついたもの） ※無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面に貼付しています。

● パソコンに IP アドレスが設定されていない

症　状	原因と対策
パソコンの IP アドレスが設定されていない	●パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも WM3600R の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記の手順で IP アドレスを取り直してください。 **< IP アドレスの再取得>** < Windows® 7/Windows Vista® の場合> ①［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を右クリックし、［管理者として実行］をクリックする ②ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［はい］または［続行］をクリックする ③「ipconfig /release」と入力して［Enter］キーを押し、IP アドレスを解放する ④「ipconfig /renew」と入力して［Enter］キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字） < Windows® XP の場合> ①［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /release」と入力して［Enter］キーを押し、IP アドレスを解放する ③「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押し、IP アドレスを取り直す ④IP アドレス（IP Address）が「192.168.0.XXX」になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字） < Mac OS X の場合> 以下は Mac OS X v10.6 Snow Leopard の場合の例です。 ①アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する ②［ネットワーク］画面で［AirMac］を選択し、［詳細］をクリックする ③［TCP/IP］タブをクリックする ④［DHCP リースを更新］をクリックし、IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字） < iOS の場合> 以下は iOS 4.2 の場合の例です。 ①「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする ②設定メニューの「Wi-Fi」をタップする ③「ワイヤレスネットワークを選択 ...」から、チェックが入っている接続中のネットワーク名（SSID）の右側にある［>］ボタンをタップする ④「DHCP リースを更新」をタップする ⑤「DHCP リースを更新しますか？」をタップする ●無線LANをご利用の場合は、「無線LAN通信ができない」(☛P9-5）を参照して無線 LAN 通信を確立させてください。

● クイック設定 Web に関するトラブル

症　状	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://aterm.me/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	●プロキシの設定をしていませんか →プロキシの設定をしている場合、受け付けが拒否されます。Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ①［ツール］－［インターネットオプション］－［接続］－［LAN の設定］の順にクリックする ②［LAN にプロキシサーバーを使用する］の［詳細設定］をクリックして、例外に「aterm.me」を入れる ●代わりに IP アドレスを入れても表示できます。 ●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(☛P1-13) ●無線接続してクイック設定 Web を表示させる場合、セカンダリ SSID に無線接続していると、クイック設定 Web は表示できません。(☛P1-4) その場合は、AES の暗号化モードに対応した無線 LAN 端末（子機）からプライマリ SSID に無線接続してクイック設定 Web を表示してください。 ●無線 LAN アクセスポイントモードでクレードルに接続している →クレードルのルータ／アクセスポイント切替スイッチを RT 側に切り替えて、ルータモードにしてからクイック設定 Web を開いてください。(☛P3-32)
WM3600R のクイック設定 Web が開かない	●JavaScript が無効に設定されている →WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。(☛P1-17) ●IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。(☛P9-6)
WWW ブラウザで WM3600R にアクセスすると、ユーザ名と管理者パスワードを要求される	●WWW ブラウザで本商品にアクセスすると、ユーザ名と管理者パスワードを要求されます。 →「ユーザー名」(上段) には、「admin」を入力してください。「パスワード」(下段) には、WWW ブラウザで本商品に最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。(☛P4-4)
管理者パスワードを忘れてしまった	●WM3600R を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。(☛P9-13) ただし、クイック設定 Web の「メンテナンス」－「設定値の保存＆復元」で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。(機能詳細ガイド)
WM3600R のバージョンを確認したい	クイック設定 Web で確認することができます。 「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。

症　状	原因と対策
ブラウザからの応答がなくなってしまった	●クイック設定 Web では、［設定］をクリックすると設定値は即時有効となりますので、［詳細設定］－［LAN 側設定］、または［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定］の変更では、［設定］をクリックするとブラウザからの応答がなくなる場合があります。その場合は、いったんクイック設定 Web を終了させてください。（無線 LAN 設定を変更した場合は、本商品と無線 LAN 端末（子機）との無線設定をし直して、接続を確立させてください。）その後、再度クイック設定 Web を起動し(☛P4-4)、[保存]をクリックしてください。（本商品の IP アドレスを変更した場合は、再度クイック設定 Web を起動する際、変更した IP アドレスを入力してください。） なお、［保存］をクリックせず、本商品の電源を OFF したり、再起動したりすると、設定値が失われますのでご注意ください。

● らくらく無線スタート EX に関するトラブル

症　状	原因と対策
らくらく無線スタート EX が成功しない	●WM3600R のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている →らくらくスタートボタンは、POWER ランプが緑点滅状態になったらいったん放します。「つなぎかたガイド」などの手順にしたがってもう一度らくらく無線スタートを行ってください。 ●ドライバが正しくインストールされていない →詳細は、ご利用の無線 LAN 端末（子機）のメーカにお問い合わせください。 ●らくらく無線スタート EX が正しくインストールされていない →添付の CD-ROM（ユーティリティ集）、または別紙に記載のホームページから最新のらくらく無線スタート EX をダウンロードしてインストールしてください。 ●WM3600R の暗号化が解除されている →暗号化設定を行ってください。（機能詳細ガイド） ●WM3600R の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている →MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。（機能詳細ガイド） ●パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどが動作している →設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。 ●パソコンに設定された固定 IP アドレスが本商品のネットワーク体系とあっていない →パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。(☛P1-14) ●無線 LAN 端末（子機）専用の設定ユーティリティなどが動作している →無線 LAN 端末（子機）専用の設定ユーティリティはいったん停止してください。

症　状	原因と対策
らくらく無線スタート EX が成功しない	●WM3600R と無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号強度が一致していない →WM3600R に無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号強度を設定してください。AES または 128bitWEP に対応していない無線 LAN 端末（子機）を利用する場合 WM3600R の設定を変更する必要があります。 ●どうしても設定できない場合は、「Windows Vista® および Windows® 7/XP の「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する」（☛P3-12）で設定してください。

● ご利用開始後のトラブル

症　状	原因と対策
電源が切れてしまった	●充電池の電池残量がありません。充電してください。（☛P2-3） ●下記のような使用状況により、本体が高温になった場合は、自動的に動作を停止します。 ・ 直射日光に当たるところで使用した場合 ・ 高温下で充電しながら使用した場合 ・ かばんなどに入れて密封して使用した場合 その場合、本体温度が下がってから電源を入れてください。
インターネット接続と切断が頻繁にできたりできなかったりする	お客様が WiMAX サービス事業者との間で機器追加オプション（名称は各事業者により変わる場合があります。）を契約され、１つの WiMAX 回線で複数の WiMAX 機器を登録されていた場合、後から接続する機器がインターネットに接続され、先に接続されていた機器がインターネットから切断される場合があります。 2 台の機器どうしで接続と切断を繰り返さないようにするため、 ●クイック設定 Web の「詳細設定」－［その他］－［切断時設定］にて［WiMAX 切断時の自動接続］の［接続する］のチェックを外してください。 なお、［保存］をクリックせず、本商品の電源を OFF したり、再起動したりすると、設定値が失われますのでご注意ください。 ただし、機器追加オプションでも、各 WiMAX サービス事業者ごとにサービス内容が違う場合があるため、この設定をしていても問題とならない場合があります。 （例：WiMAX 利用登録画面などで、使用する機器の切り替え手続きを行ってから、インターネット接続ができるようになる場合など。） 詳細は、各 WiMAX サービス事業者のサービス説明をご確認ください。
ブラウザが正常に開かない	●WWW ブラウザでポップアップブロックが設定されていると、情報バーにポップアップブロックが表示され、正常に開かない場合があります。 →ポップアップブロックを解除し、再度ブラウザを開いてください。

症　状	原因と対策
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.XXX は、ハードウェアのアドレスが .... と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	● [OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。 **< IP アドレスの再取得>** < Windows® 7/Windows Vista® の場合> ① [スタート]（Windows® のロゴボタン）－ [すべてのプログラム] － [アクセサリ] － [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする ② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする ③「ipconfig /release」と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ④「ipconfig /renew」と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤ IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字） < Windows® XP の場合> ① [スタート] － [すべてのプログラム]（または [プログラム]）－ [アクセサリ] － [コマンドプロンプト] をクリックする ②「ipconfig /release」と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ③「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ④ IP アドレス（IP Address）が「192.168.0.XXX」になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字） < Mac OS X の場合> 以下は Mac OS X v10.6 Snow Leopard の場合の例です。 ① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する ② [ネットワーク] 画面で [AirMac] を選択し、[詳細] をクリックする ③ [TCP/IP] タブをクリックする ④ [DHCP リースを更新] をクリックし、IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字） < iOS の場合> 以下は iOS 4.2 の場合の例です。 ①「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする ② 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする ③「ワイヤレスネットワークを選択 ...」から、チェックが入っている接続中のネットワーク名（SSID）の右側にある [>] ボタンをタップする ④「DHCP リースを更新」をタップする ⑤「DHCP リースを更新しますか？」をタップする

症　状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない	●パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも WM3600R の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 〈IPアドレスの再取得〉(☛P9-10)を参照して、IPアドレスを再取得してください。 ● 1Day 契約などの契約期限が切れている場合があります。1Day 契約など、期間を限定して契約された場合、契約期限後に再度サービスを利用するときは、本商品と USB 接続できるパソコンから WiMAX 通信によるネットワーク接続（☛「つなぎかたガイド」）、または無線 LAN で接続し、WWW ブラウザでサービス加入契約を完了させてください。(☛P5-2)
WM3600R が正常に動作しないが、原因がわからない	●設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、初期化して工場出荷時の状態に戻し、最初から設定し直してください。
接続する無線動作モードのネットワーク名（SSID）を忘れてしまった	●WM3600R 側面の RESET スイッチによる初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください。(☛P9-14) 出荷時のネットワーク名（SSID）の設定は WM3600R 裏面に記載されています。(☛P3-5)
接続する無線動作モードの暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった	●WM3600R 側面の RESET スイッチによる初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください。(☛P9-14) 出荷時のネットワーク名（SSID）の設定は WM3600R 裏面に記載されています。(☛P3-5)
無線状態が良好なのに速度がでない	●近くに隣接する無線チャネルを使っている人がいる、または「チャネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetooth などの電波を放射する装置で電波干渉がある。 →クイック設定 Web を起動して［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定］の［無線 LAN アクセスポイント（親機）設定］で「使用チャネル」の番号を変更します。設定値の目安として、他の無線設備が使用しているチャネルから 4 チャネル以上ずらすようにしてください。 ●WM3600R と無線 LAN 端末（子機）が近すぎる → 1m 以上離してください。
無線状態が良好なのに通信できない	●〈IPアドレスの再取得〉(☛P9-10)を参照して、IPアドレスが取得できるか確認してください。 ●固定 IP アドレスでお使いの場合は、WM3600R と無線 LAN 端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 （例:WM3600R が 192.168.0.1 のとき、無線 LAN 端末（子機）は 192.168.0.XXX）
無線 LAN 端末（子機）を利用して、ＡＶサーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛ぶ	●無線状態が悪い（WM3600R との距離が離れすぎている） →電波状態が良好となるところに移動してください。 ●電波干渉がある →無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。(☛ 上記) ●AV サーバのレートを低品質に下げてご利用ください。
WM3600R のバージョンを確認したい	●次の方法で確認できます。 ・ クイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」

公衆無線 LAN サービスに関するトラブル

症　状	原因と対策
WiMAX ランプが赤点灯、アンテナランプが 2 本点灯している	●電源を入れ直してください。 POWER ランプが赤点灯するまで電源ボタン⏻を長押しして、電源を OFF してから電源ボタン⏻を放し、10 秒ほど待ってから、再度、POWER ランプが緑点滅するまで電源ボタン⏻を押して電源を ON してください。

クレードル（オプション品）に関するトラブル

● 有線 LAN で通信できない

症　状	原因と対策
LAN ケーブルを接続しても LAN ランプが消灯している	●本体および LAN ケーブルが確実に接続されていない場合があります。接続を確認してください。
AC アダプタを使用しないで、LAN を接続していたが通信できなくなった	●本体のバッテリーランプが、緑点滅になっている場合は電池残量が少なくなっています。 AC アダプタを接続して充電してください。
クレードルに置くと本商品が再起動する	●アクセスポイントモードになっています。 クレードル背面のルータ／アクセスポイント切替スイッチが AP 側にある場合、本商品を着脱するときに再起動します。アクセスポイントモードで使用しないときは、スイッチを RT 側にしてください。

添付の CD-ROM に関するトラブル

症　状	原因と対策
CD-ROM セット直後に表示される画面を表示したくない	Windows® XP の場合、CD-ROM をセットすると、画面が表示されるように設定されています。 →表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。 ●不要な場合は ☒ をクリックします。（機種によっては［終了］をクリックします。） ●Windows® XP の場合、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットします。

9-2 初期化する

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことをいいます。本商品がうまく動作しない場合は、本商品を初期化してはじめから設定し直すことをお勧めします。

※ 加入者契約は、解除・解約できません。サービス事業者へお問い合わせください。
※ 初期化の際は、P9-14 の「お願い」もご覧ください。
※ 初期化しても、お客様がバージョンアップしたファームウェアはそのままです。

初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

クイック設定 Web で初期化する（☛ 下記）
RESET スイッチで初期化する（☛P9-14）

クイック設定 Web で初期化する

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://aterm.me/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

本商品の IP アドレスを入力しても開きます。「http://aterm.me/」で開けない場合は、IP アドレスを入力してください。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）例：http://192.168.0.1/

3 ユーザ名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「メンテナンス」の［設定値の初期化］を選択する

5 ［設定値の初期化］をクリックする

6 ［OK］をクリックする

再起動します。

RESET スイッチで初期化する

本商品の RESET スイッチを使って初期化を行います。RESET スイッチは、本商品側面にあります。細い棒状のもの（つまようじなどの電気を通さない材質のもの）をご用意ください。

1. **SET ボタン を押してすぐ放す**

   LED が通常点灯している場合は、この手順は不要です。

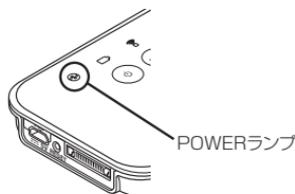
2. **各 LED が通常点灯したらすぐに本商品側面にある RESET スイッチを細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で押し続け、POWER ランプが赤点滅を始めたら放す**

   POWER ランプが赤点滅するまで約 6 秒〜 10 秒かかります。

   RESETスイッチ

3. **10 秒ほど待ってから、POWER ランプが赤点灯するまで電源ボタン を長押しして放し、電源を切る**

4. **電源を切ったあと、5 秒ほど待ってから、POWER ランプが緑点滅するまで電源ボタン を押して、電源を入れる**

   POWER ランプが緑点灯し、各ランプが順次点灯します。

お願い

- クイック設定 Web ページを開く場合はルータモードで開いてください。本商品がクレードルに接続されて、無線 LAN アクセスポイントモードに設定されているときは、クレードルから取り外してから行ってください。
- 本商品は、工場出荷時の状態で自動 LED 消灯機能と省電力状態切り替え機能のウェイティングが設定されています。RESET スイッチで初期化する際は、SET ボタン を押して LED を通常点灯させてから行ってください。
- 本商品の設定を初期化した場合、管理者パスワードの設定もクリアされ、パケットフィルタなどの設定も初期値に戻りますので、初期化後に必ず再設定してください。
- 本商品は、工場出荷時に、ネットワーク名（SSID)、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名（SSID)、暗号化キーの設定も工場出荷時の設定（本商品の裏面に記載）になります。暗号化の設定を変更している場合などは、無線 LAN 端末（子機）から接続できなくなる場合があります。その場合は、本商品の設定を変更するか、無線 LAN 端末（子機）の暗号化設定も工場出荷時の状態（本商品の裏面に記載）に戻してください。

付録

10-1　製品仕様……………………………………10-2
10-2　索引…………………………………………10-4

10-1 製品仕様

WM3600R ハードウェア仕様

項　目		諸元および機能	
WiMAX インタフェース	IEEE802.16e-2005	周波数帯域 / BW	2.5GHz 帯（2,595 ～ 2,625MHz）/ 10MHz, 5MHz TDD
		伝送方式	OFDMA（直交周波数分割多重）方式
	アンテナ	内蔵× 2（MIMO 方式）	
USB インタフェース	物理インタフェース	USB ポート（micro B-type）× 1（LAN 通信）	
	インタフェース	USB（USB2.0 推奨＊ 2）	
無線 LAN インタフェース	11n テクノロジー使用時	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400 ～ 2,484MHz）/ 1 ～ 13ch ＊ 4
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
		伝送速度＊ 1	2.4GHz 帯［HT20］＊ 3 65/58.5/52/39/26/19.5/13Mbps （自動フォールバック） 2.4GHz 帯［HT40］＊ 3 150/135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5Mbps （自動フォールバック）
	IEEE802.11b	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400 ～ 2,484MHz）/ 1 ～ 13ch ＊ 4
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式
		伝送速度＊ 1	11/5.5/2/1Mbps （自動フォールバック）
	IEEE802.11g	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400 ～ 2,484MHz）/ 1 ～ 13ch ＊ 4
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式 / 搬送波数 52
		伝送速度＊ 1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）
	アンテナ	送信 1 ×受信 1（内蔵アンテナ）	
	セキュリティ	SSID、MAC アドレスフィルタリング、 ネットワーク分離機能、WEP（128/64bit）、 WPA-PSK（TKIP、AES）、WPA2-PSK（TKIP、AES）	

<table>
<tr><th colspan="3">項　目</th><th colspan="2">諸元および機能</th></tr>
<tr><td rowspan="6">ヒューマンインタフェース</td><td rowspan="5">状態表示ランプ</td><td>POWER</td><td colspan="2">電源通電時点灯</td></tr>
<tr><td>WLAN（Wi-Fi）</td><td colspan="2">無線 LAN の通信状態表示</td></tr>
<tr><td>バッテリー</td><td colspan="2">電池使用時は電池残量表示
充電時は充電状態表示</td></tr>
<tr><td>WiMAX（WAN）</td><td colspan="2">WiMAX ／公衆無線 LAN の通信状態表示</td></tr>
<tr><td>アンテナ 1 ～ 3</td><td colspan="2">WiMAX ／公衆無線 LAN の電界強度表示</td></tr>
<tr><td colspan="2">スイッチ</td><td colspan="2">電源ボタン× 1
SET ボタン／らくらくスタートボタン× 1
RESET スイッチ× 1</td></tr>
<tr><td colspan="3">動作保証環境</td><td>温度 0 ～ 35℃　湿度 10 ～ 90%</td><td>結露しないこと</td></tr>
<tr><td colspan="3">外形寸法</td><td>約 95（D）× 70（W）× 12.8（H）mm</td><td>突起部除く</td></tr>
<tr><td colspan="3">電池</td><td>内蔵充電池（リチウムポリマ電池）</td><td>定格 3.7V 2500mAh</td></tr>
<tr><td colspan="3">電源</td><td>AC アダプタ</td><td>AC100V ± 10%
50/60Hz</td></tr>
<tr><td colspan="3">消費電力</td><td>最大 7.5W（AC アダプタ充電時）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">質量（本体のみ）</td><td>約 110g</td><td>AC アダプタを除く</td></tr>
</table>

＊ 1： 規格による理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際のデータ通信速度は異なります。
＊ 2： USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 でのご使用をお勧めします。なお、対応しているすべてのパソコンについて動作保証するものではありません。動作確認済みのパソコンは別紙に記載のホームページでご覧ください。
＊ 3： ご利用環境によっては、HT40/HT20 モードが自動で切り替わるため、デュアルチャネルを「使用する」に設定しても、HT20 で接続される場合があります。
＊ 4： オートチャネルセレクト時は、1 ～ 11ch

クレードル仕様　※オプション品

<table>
<tr><th colspan="3">項　目</th><th colspan="2">諸元および機能</th></tr>
<tr><td rowspan="4">LAN インタフェース</td><td colspan="2">物理インタフェース</td><td colspan="2">8 ピンモジュラージャック（RJ-45）× 1 ポート</td></tr>
<tr><td colspan="2">インタフェース</td><td colspan="2">100BASE-TX</td></tr>
<tr><td colspan="2">伝送速度</td><td colspan="2">100Mbps</td></tr>
<tr><td colspan="2">全二重／半二重</td><td colspan="2">全二重／半二重</td></tr>
<tr><td>AC アダプタインタフェース</td><td colspan="2">物理インタフェース</td><td>USB コネクタ（micro B-type）× 1 ポート</td><td>AC アダプタ接続用ポート
※USB 通信はできません。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ヒューマンインタフェース</td><td rowspan="2">状態表示ランプ</td><td>POWER</td><td colspan="2">電源通電時点灯</td></tr>
<tr><td>LAN</td><td colspan="2">有線 LAN の通信状態表示</td></tr>
<tr><td colspan="2">スイッチ</td><td colspan="2">ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチ× 1</td></tr>
<tr><td colspan="3">外形寸法</td><td colspan="2">約 72.5（W）× 56（D）× 47（H）mm</td></tr>
<tr><td colspan="3">質量</td><td colspan="2">約 70g</td></tr>
</table>

10-2 索引

(www)マークの項目については、ホームページに公開している「(www)機能詳細ガイド」で説明しています。

[数字]

11n テクノロジー無線 LAN ………… (www)

[A ～ Z]

AC アダプタ …………………1-7、2-3
AC アダプタ接続ポート ……………1-12
AES ……………………………… 1-4
AirMac 対応のパソコンで
　インターネット接続……………… (www)
CD-ROM………………………… 18、1-7
DHCP 固定割当設定………………… (www)
DHCP サーバ機能…………………… (www)
DHCP 除外設定……………………… (www)
DNS フォワーディング ……………… (www)
DNS ルーティング …………………… (www)
ECO 設定………………………… 2-6
ESS-ID ステルス機能
　（SSID の隠蔽）……………7-2、(www)
IEEE802.11b 無線 LAN …………… (www)
IEEE802.11g 無線 LAN …………… (www)
IP パケットフィルタリング ……6-7、(www)
JavaScript …………………………1-17
LAN ポート…………………………1-12
LAN ランプ…………………………1-12
MAC アドレス
　～フィルタリング機能 ………7-2、(www)
PIN 方式 ………………………… 3-8
POWER ランプ ……… 1-8、1-9、1-12
RESET スイッチ …………1-11、9-14
SET ボタン／らくらくスタートボタン
　……………………… 1-8、1-10
TKIP………………………………… 1-4
TV 電話をする（Windows Messenger
　および Windows Live Messenger の
　利用方法）……………………1-6、6-7
UPnP 機能 …………………6-7、(www)
USB ポート …………………………1-11
VPN パススルー機能 …………6-7、(www)
WAN 側機能 ………………………… (www)
WEP………………………………… 1-4
WiMAX に関するトラブル…………… 9-3
WiMAX ランプ………………1-8、1-10
WLAN（Wi-Fi）ランプ ………1-8、1-9
WPS 機能 ……………… 1-3、3-7、(www)
WWW ブラウザの設定 ………………1-16

[ア行]

アドバンスド NAT
　（IP マスカレード /NAPT）………… (www)
アドバンスド NAT
　（ポートマッピング）……………… (www)
暗号化……………………………… (www)
安全にお使いいただくために………… 5
アンテナランプ……………… 1-8、1-10
医療電気機器……………………… 7
インターネット接続先の登録………… (www)
ウェイティング…………………… 2-6
オートチャネルセレクト……………… (www)

[カ行]

各部の名称とはたらき……………… 1-8
管理者パスワードの変更……………… (www)
機能一覧…………………………… 17
「機能詳細ガイド」目次……………… 17
休止状態…………………………… 2-7
クイック設定 Web………………… 4-2
　～で初期化する ………………9-13
　～の起動のしかた ……………… 4-4
　～の使い方 ……………………… (www)
クレードル……………… 1-12、10-3
　～で有線 LAN 接続する………… 3-4
クレードルに関するトラブル………9-12
クレードルポート…………1-11、1-12
ゲーム機やスマートフォンなどを
　接続する……………… 1-5、3-11
公衆無線 LAN サービス …………… 6-2
工場出荷時の状態に戻す（初期化）…9-13
構成品……………………………… 1-7

[サ行]

自動 LED 消灯 ････････････････････････ 2-6
自動省電力･･････････････････････････ 2-6
充電･････････････････････････････ 2-3
充電時間･･････････････････････････ 2-5
充電池
　充電 ････････････････････････････ 2-3
　取り扱い方 ･･････････････････････ WWW
情報表示（装置情報、状態表示）････････ WWW
初期化する
　RESET スイッチで～ ･･･････････9-14
　クイック設定 Web で～ ･････････9-13
スマートフォンアプリ･････････････････ 6-5
製品仕様････････････････････････10-2
セキュリティ機能･････････････････････ 7-2
接続する
　本商品を～ ･･････････････････････ 3-2
　無線 LAN で iPad/iPod touch/iPhone
　　から～ ････････････････････････3-10
　無線 LAN 内蔵のゲーム機から～･･3-11
設定する
　Windows Vista® および Windows®
　　7/XP の「ワイヤレスネットワーク
　　接続」で～ ････････････････････3-12
　無線 LAN ････････････････････････ 3-5
　無線 LAN アクセスポイントモードに～
　　････････････････････････････3-32
設定値の初期化････････････････････9-13

[タ行]

ダイナミックポートコントロール機能･･･ WWW
通信確認（疎通確認テスト）･･･････････ WWW
通信情報ログ（アクセスログ機能）････ WWW
できること････････････････････････ 1-2
デュアルチャネル･･････････････ 1-5、WWW
電源ボタン･････････････････ 1-8、1-10
電池残量･･････････････････････････ 2-5
添付の CD-ROM に関するトラブル･･･9-12
動作時間･･････････････････････････ 2-5
ドライバをインストールする･･････････ WWW
トラブルシューティング･･････････････ 9-2

[ナ行]

ネットワーク
　パソコンの～の確認 ･･････････････ WWW
ネットワークゲーム････････････････ 1-6
ネットワーク分離機能････････････････ WWW
ネットワーク名（SSID）･･････････････ WWW

[ハ行]

バージョンアップ･･･････････････････ 8-2
はじめに（マニュアル構成）････････････ 2
パソコンのネットワークの確認･･･････1-14
バッテリーランプ･･･････････････････ 1-8
ファームウェアの更新･･････････････ WWW
ファイアウォール
　･･････････････1-13、9-5、9-7、9-8
不正アクセス検出機能･･････････････ WWW
ブロードバンドルータ機能････････････ WWW
便利な機能････････････････････････ 6-7
ポートマッピング･･･････････････････ 6-7
ポップアップヘルプ･･･････････････ 4-5

[マ行]

マルチ SSID ･･････････････････ 1-4、WWW
無線 LAN スリープ ･････････････････ 2-6
無線セキュリティ･･･････････････････ WWW
目次･････････････････････････････ 15

[ラ行]

らくらくスタートボタン･･･････ 1-8、1-10
らくらく無線スタート EX 機能････････ WWW
らくらく無線スタート機能････････････ WWW
ランプ表示･････････････････ 1-8、1-12
リチウムポリマ電池････････････14、10-3
ルータ／アクセスポイントモードの
　切り替え ････････････････････････3-32
ルータ機能････････････････････････ WWW
ロングライフ充電･･･････････････････ 2-8

[ワ行]

ワイヤレスネットワーク接続･････････3-12

■本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品は、セキュリティ確保のため、自動設定時に通信を暗号化しています。
通信の暗号化には、OpenSSL プロジェクトで作成された OpenSSL Toolkit ソフトウェアを使用しています。
OpenSSL Toolkit ソフトウェアは世界で広く使用されており、ライセンス規約を順守することによって無料で使用できます。
以下に OpenSSL Toolkit のライセンス規約（原文）を記載します。
なお、本商品のマニュアルなどで記載されている通常の使用においては、ライセンス規約に違反することはありません。

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2003 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright® 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
   "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

WIDE Project
Copyright® 1995-1997 Akihiro Tominaga
Copyright® 1995-1997 WIDE Project
All rights reserved.

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided the following conditions are satisfied,

1. Both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any portions thereof, and that both notices appear in supporting documentation.
2. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   This product includes software developed by WIDE Project and its contributors.
3. Neither the name of WIDE Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE DEVELOPER ``AS IS'' AND WIDE PROJECT DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE. ALSO, THERE IS NO WARRANTY IMPLIED OR OTHERWISE, NOR IS SUPPORT PROVIDED.

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

●廃棄方法について

本商品に内蔵されている充電池の取り外しはお客様自身では行わないでください。
本商品の廃棄方法は、製品サポートページをご確認ください。

●リチウム系電池輸送規制について

本商品は、リチウムポリマ電池を使用しています。本商品を輸送する場合は、輸送会社に「リチウムポリマ電池を含んだ内容物」であることを伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。法令に基づく表示等を行わないで、空輸、海上輸送を行いますと、航空法、並びに船舶安全法に抵触し、罰せられることがあります。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。

（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

（4）本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

（5）セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

（6）せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。